

右今般海嘯被害ノ趣 皇太后陛下被 聞食思召ヲ以テ下賜候事
明治二十九年七月四日

同年六月二十五日各宮殿下別當家令總代ヨリ各宮殿下御救恤金五百圓ヲ下賜セラ

ル其文左ノ如シ

本月十五日御縣下海嘯ニ付各宮殿下思召ヲ以テ金五百圓下賜相成候條罹災者救
恤ノ補助ニ被充度即チ爲替券ヲ以テ差出候御落掌有之度此段及御依頼候也

明治二十九年六月二十五日

各宮別當家令總代

閑院宮別當男爵花房義質

宮城縣知事勝間田稔殿

以上三陛下及各宮殿下恩賜金ハ之ヲ被害地人民ハ勿論被害地外居住者ニシテ岩手
青森ノ二縣及本縣被害地三郡ニ旅行又ハ止宿中海嘯ノ難ニ遭ヒ死亡負傷又ハ之レ
カ爲メニ疾病ニ罹リタル者ニモ配付スルコト、シ其ノ方法ニ關シテハ知事先ツ左

ノ内規及ヒ手續ヲ定メタリ

恩賜金配付内規

第一條 恩賜金ハ準率個數ニ依リ左ノ七項ニ該當スル家ニ對シ平均六個ヲ配付シ

尙ホ左ノ項中ニ該當スル人ニ對シ各其ノ所定ノ個數ヲ配付ス

- 一家屋流失 七個
- 一同 全潰 七個
- 一同 半潰 四個
- 一同 破壊 二個
- 一死亡 五個
- 一重症 四個
- 一輕症 二個

第二條 一家中ニシテ前條各項ノ數種ニ當ルモノアルトキハ總テ各別ニ配付スル
モノトス

第三條 流失全潰半潰破壊ハ住家ニシテ自家借家ヲ問ハス現住者ニ配付スルモノ

第四條

破壊トハ住家ノ半潰ト認ムヘカラサルモ甚シク破壊シタルモノ又ハ住家ニ浸水シタルモノニシテ其附屬家半潰以上ニ至リシモノヲ云フ

第五條

死亡ハ災害ニ起因シタル負傷疾病ノ爲メ災後死亡シタルモノモ含有ス

第六條

重症トハ災害ニ起因シタル負傷疾病ニシテ災後三週日以上醫療ヲ受ケタルモノヲ云フ

第七條

輕症トハ災害ニ起因シタル負傷疾病ニシテ災後一週日以上三週日未滿醫療ヲ受ケタルモノヲ云フ

第八條

同居ノ者ト雖モ生計ヲ同フセサルモノハ各一家ト見做シ配付スルモノトス

第九條

全家死亡シタルモノハ其跡式ヲ引受ケタル相続人ニ下付スルモノトス
恩賜金下付手續

一 恩賜金ハ各戸ニ分チ一々包裝ノ上申渡書ヲ付シ明治二十九年八月一日ヲ以テ知事ヨリ三郡長ニ交付ス

一 三郡長ハ下付ノ時日ヲ豫定シ本吉郡ハ志津川町氣仙沼町桃生郡ハ十五濱村牡鹿郡ハ女川村ニ出張シ村長區長及ヒ被害者總代ニ對シ下付スヘシ

一 被害者總代ハ各部落二十名以下二名以上トス

一 恩賜金下付ノ節ハ所轄警察署長又ハ分署長本縣出張所長郡參事會員一名町村會議員等立會スヘシ

一 被害者總代人ハ恩賜金並ニ申渡書ヲ各被害者ニ配付シ拜受證ニ捺印セシメ三日間ヲ期シ所轄町村長ニ差出スヘシ

一 所轄町村長ハ前項拜受證ヲ取纏メ下付ノ日ヨリ五日以内ニ所轄郡長ニ差出スヘシ

一 所轄郡長ハ前項拜受證ヲ取纏メ下付ノ日ヨリ七日以内ニ縣廳ニ發送スヘシ
是ニ於テ知事ハ被害三郡其ノ他各郡市長ノ詳細ナル被害調査書ヲ徴シ以上ノ内規及ヒ手續ニヨリテ各戸別ニ其配付金額ヲ定メ一々包裝ノ上水引ヲ掛ケ上ニ 恩賜ノ二字ヲ朱書シ内ニ其金員ヲ記シ更ニ左ノ達文ヲ四截ノ大奉書ニ朱刷シタルモノヲ添付シ明治二十九年八月一日ヲ以テ知事ハ之ヲ被害三郡長ニ交附セリ其金額總

ヲ參千五百五拾五圓貳拾錢ナリ其達文左ノ如シ
去ル六月十五日海嘯ノ爲メ被害尠カラザル趣憫然ニ思召サレ救恤ノ補助ニ充ツ
ヘキ旨ヲ以テ

聖上

皇后兩陛下ヨリ金參千圓

皇太后陛下ヨリ金七百圓

御下賜相成リタルニ付キ配付致候條深ク天恩ノ辱キヲ拜スヘシ

明治二十九年八月一日

宮城縣知事 勝 間 田 稔

然ルニ爾後其ノ配付ニ洩レタルモノアルヲ發見シタルニヨリ同年十一月二十一日
更ニ恩賜金貳百六拾九圓八拾錢ヲ配付シ又タ同年十二月十六日被害地外居住者ノ
災害ニ罹リタル者ニ對シ別ニ恩賜金六拾六圓六拾錢ヲ配付セリ今恩賜金配付後ニ
於ル收支計算及恩賜金配付明細表ヲ掲クルコト左ノ如シ

恩賜金計算書

一金參千圓

兩陛下恩賜

一金七百圓

皇太后陛下恩賜

一金五百圓

各宮殿下恩賜

計金四千貳百圓

内

一金參千八百參拾七圓六拾錢

三郡被害者へ配付
被害地外在籍罹災者へ配付

一金八拾貳圓拾錢

計金參千九百拾九圓七拾錢

殘金貳百八拾圓參拾錢

(備考)此殘金ハ義捐金ト共ニ配付セリ

同配付表

郡	名	町	村	名	配	付	金
北	鹿	郡	女	川	村		三〇、二〇〇

同	同	同	同	同	同	本	計	同	桃	同	同	同
						吉		生				
						郡		郡				
大	御	小	歌	志	戸	十	大	十	鮎	大		
谷	嶽	泉	津	津	倉	三	川	五	川	原		
村	村	村	村	川	村	濱	村	濱	村	村		
				町		村		村				
二八七、六〇〇	四、六〇〇	二二一、〇〇〇	八四三、四〇〇	四九三、三〇〇	一一五、六〇〇	二二八、二〇〇	三三九、三〇〇	五、二〇〇	三三四、一〇〇	四四、九〇〇	二、〇〇〇	一一、七〇〇

同	同	同	同	同	同	同	計	合
階	松	鹿	唐	大				
上	岩	折	桑	島				
村	村	村	村	村				
三七六、九〇〇	一一、六〇〇	一五、七〇〇	七八三、七〇〇	七〇、八〇〇	三、四五三、四〇〇	八二、一〇〇	三、九一九、七〇〇	

(第二) 國庫救濟金

明治二十九年七月十一日内務大臣ヨリ救濟金下付ニ付支給並ニ整理方共訓令セラ
ル其達左ノ如シ

宮 城 縣

今般其縣下海嘯被害ノ爲メ救濟費トシテ金五萬九千六百五拾圓配付シ支拂命令ヲ

委任候條本年度歳出臨時部海嘯災害費ノ款中難民救濟費ノ項宮城縣災民救濟費ノ目ヲ以テ整理スヘシ
右訓令ス

明治二十九年七月十一日

内務大臣伯爵 板垣退助

今般海嘯災害ニ付其縣ニ對シ救濟金トシテ金五萬九千六百五拾圓第二豫備金支出相成候ニ付テハ左ノ各項ノ趣旨ニ依リ夫夫救助方取計フヘシ

明治二十九年七月十一日

宮城縣知事勝間田稔殿

内務大臣伯爵 板垣退助

- 一 救濟金五萬九千六百五拾圓ハ左ノ各科目ニ分チ支出スルモノトス
- 一 食料 但七千人三十日分一日一人當錢貳圓ノ割
- 一 被服 但千五百五十日分一月拾五圓ノ割
- 一 及家具料 但千五百五十日分一月拾五圓ノ割
- 一 救濟金 但千五百五十日分一月貳拾圓ノ割
- 一 死體埋葬費 但千五百人分一人貳圓五拾錢ノ割
- 一 遺家取片費 但七百日分一月九圓ノ割
- 一 金六千七百貳拾圓
- 一 金壹萬七千貳百五拾圓
- 一 金貳萬參千圓
- 一 金貳千七百五拾圓
- 一 金參千六百圓

一金參千六百參拾圓

負傷者 但七百二十六人分一人五圓ノ割

- 一 救濟金支出ノ目的ハ罹災ノ窮民ニシテ自活ノ道ヲ失シタル者ヲ救助スルニ在ルヲ以テ之ヲ吊慰慈善的ニ濫費スヘカラス
- 一 救助金ハ右ノ旨意ニ從ヒ假令災害ニ罹リタル者ト雖トモ多少ノ財産ヲ有シ自活ノ道ニ窮セサル者ニハ給與スヘキ限リニアラス
- 一 農具料種穀料ヲ給與シタル災民ニ對シテハ救助金ヲ給與スルノ限リニアラス
- 一 救療費ハ専ラ醫療ニ要スル費用ニ充ツル趣旨ニシテ負傷者各個ニ療治費ヲ分配スル趣旨ニアラス
- 一 死體埋葬費遺家取片付料ハ之カ爲メニ要シタル人夫賃其他ノ雜費ニ充ツル趣旨ニシテ遺族若クハ家屋所有者ニ分配スル趣旨ニアラス
- 一 本訓令ニ列舉シタル各科目ノ費用ハ交互流用スルコトヲ得
- 一 本訓令ニ掲記シタル科目以外ニ於テ必要ノ支出アリト認ムルトキハ事由ヲ具シテ内務大臣ノ認可ヲ受クヘシ
- 一 救濟金支出ノ目的ハ主トシテ罹災ノ窮民ヲ救助スルニ在ルヲ以テ土木事業等災

民救助ノ目的以外ニ渉ル費用ハ支出スルコトヲ得ス

一 救済金ノ支出ハ帝國議會ノ承諾ト會計検査院ノ承認トヲ經ルヲ要スルモノニシテ費用ノ收支ハ最モ詳細明確ナルヲ要スルハ勿論救助金被服家具料食料等災民ニ給與スル金員ニ關シテハ正當受取人ノ受取証書(代理人ナラハ委任狀)ト受領シ置キ後日紛議ノ因タラサルヘキ様篤ク注意ヲ加フヘキモノトス

一 救済金ノ金額ハ各科目ノ掲記シタル罹災ノ戸口ニ基キ精算シタルモノナルヲ以テ實地ニ臨ミ支給スルニ方リテハ精細ナル調査ヲ爲シ眞ニ救助ヲ要スル災民ニ限リ且ツ救助ノ程度モ各科目ニ定メタル範圍内ニ於テ適當ノ等差ヲ設ケ務メテ濫費ニ涉ラサル様篤ク注意ヲ加ヘ若シ殘餘金ヲ生スルトキハ歲計剩餘金トシテ決算ヲ了スヘシ

一 救助金ハ災民ノ老幼廢篤疾ニシテ親族等ノ救助ニ頼リ難キ者ニ限リ特ニ一戸ニ付キ參拾圓迄ヲ給與スルコトヲ得

一 被服家具料ハ家族ノ人員多數ナルモノハ特ニ一戸ニ付貳拾圓迄ヲ給與スルコトヲ得

一 災民救助ノ方法ハ以上掲記シタル條項ノ範圍内ニ於テ縣知事適宜之ヲ定ムヘシ

是ヨリ先キ六月二十日知事ハ窮民救助ノ資ニ充ツヘキ適當ノ財源ナキヲ以テ内務大臣ニ電報ヲ以テ國庫金特別下付ヲ稟請シタルニ翌二十一日内務次官ヨリ救済ノ目的方法及ヒ金額ニ付意見内申スヘキ旨電報ヲ以テ照會アリシニ依リ知事ハ同二十三日ヲ以テ具ニ其意見ヲ陳述セリ其略ニ云ク

去ル二十日電報ヲ以テ管下海嘯ニ付臨時救済費國庫ノ御支給ヲ仰キ候處直チニ電報ヲ以テ其目的的方法等小官ノ意見御問合有之委曲領承即チ左ニ鄙見具陳仕候

一支給相成ルヘキ目的ハ左ノ二項ナランコトヲ望ム

一 救恤

一 衛生

救恤ノ細目及ヒ方法ハ凡ソ左ノ如シ

一 食料補給

備荒儲蓄法ニハ制限アリ焚出米若クハ現米代金等ヲ給與スルハ三十日以外ニ出ツルヲ許サス然ルニ被害地ニ在リテハ幸ニ生存スルモノモ纔ニ生命ヲ拾ヒ得タルマテニシテ家屋家財衣服ヲ併セテ蕩盡シ去ラレタルヲ以テ中産以下ノモノニ

アリテハ災後兩三ヶ月間ニシテ生活ノ道ヲ立テ飢渴ノ患ヲ免カル、能ハサル可
シ依テ自カラ生存シ得ルモノヲ除クノ外ハ三ヶ月間ハ焚出米ヲ給與スルカ又ハ
其口數日數ニ應シ現米若クハ現金ヲ給與セントス

二小屋掛料ノ補給

備荒儲蓄法ニハ本項モ同シク制限アリ一戸拾圓以上ヲ給與スル能ハス然ルニ木
材暴騰ノ今日纔ニ膝ヲ容ル、ニ足ルヘキ一時ノ小屋掛ト雖トモ五六拾圓ヲ費ス
ニアラサレハ之ヲ造築スル能ハス殊ニ破損又ハ半潰ノ家屋ハ備荒儲蓄ノ給與ス
ラ之ヲ受クル能ハス實際雨露ヲ凄ク能ハサルノ慘狀ナルヲ以テ家族ノ人員等ニ
應シ之ヲ補給セントス

三衣服調度ノ給與

罹災ノ窮民ハ前述ノ如ク身外無一物ナルヲ以テ身体ニ纏フ可キ衣服ハ勿論一ト
通ノ臥具其他鍋釜等日常必需ノ器具ハ之ヲ給與セントス

四農具漁具ノ補給

農具料ハ備荒儲蓄ヨリ之ヲ支給スルヲ得ルモ是亦々制限アリ物價騰貴ノ今時實

ニ十分ノ一ヲ補フニ過キス殊ニ今回ノ被害ハ概テ沿岸一帯ノ漁民ニシテ農具料
ヲ給スル能ハサルモノ多キニ居ル依テ漁戸ニ對シテハ漁具漁船等ノ費用ヲ補助
シ農家ニ對シテハ農具料ノ不足ヲ補給シ又タ他ノ商工業者ニ對シテハ其稼業ヲ
助クル爲メ相當ノ費金ヲ給與セントス

五雜費

罹災者ニ施與ノ爲メ衣服器材等ノ義損ヲ促カシ而シテ其取扱及運搬等ハ縣廳ニ
於テ執行シタルモ其費途ナキヲ以テ是等ノ費用モ此費中ヨリ支辨セムトス衛生
ノ細目及ヒ方法ハ左ノ如シ

一救療

救療ハ口下専ラ赤十字社ニ於テ負擔シ又醫員ノ不足ハ軍醫又ハ篤志者等ヲ以テ
スルモ篤志者ハ勿論赤十字社ト雖モ是等限リナキノ費用ヲ辨スル能ハス依テ其
費用ノ幾部分ヲ補助セントス

二死休ノ片付

死休ノ陸地ニ在ルモノニシテ遺族親戚アルモノハ概テ發掘埋葬ヲ了シタルモ其

發掘又ハ取片付ハ町村役場郡役所又ハ縣廳ヨリ數千ノ人夫ヲ近隣郡村ヨリ召集
 シテ施行セシメタリ此ノ費用ノ如キモ已ムヲ得サルモノハ之ヲ支辨セントス又
 死体ハ海上ニ流失シタルモノ過半ニシテ其海岸ニ漂着シタルモノ若クハ海中ニ
 テ探見シタルモノハ其最寄ノ陸地ニ假埋ヲ爲サ、ル可カラス然ルニ今日ニアリ
 テハ本縣及ヒ岩手縣ニ係ル數萬ノ死体海中ニ混亂セルヲ以テ豫メ一定ノ地ヲト
 シ獲ルニ從ヒ之レカ假埋ヲ爲サントスルモ其運搬人足棺桶標木等ノ費用ハ之ヲ
 支出スルノ道ナキヲ以テ是等ノ費途ニ充テントス
 三 潰家ノ片付

罹災地ニ在リテハ荷モ人家ノ聚落ヲナシタル處ハ破壊シタル家屋ノ斷材敗壁散
 亂堆積シテ如何トモスヘカラス之ヲ取片付ケントスルニ實ニ多數ノ人足ヲ要ス
 是レ亦タ其費途ナキヲ以テ之レニ充テントス
 四 飲料水下水溝渠ノ掃除

是項亦前項ト略ホ同シ

以上列舉ノ費用ヲ概算スルニ別紙記載ノ通り極テ莫大ノ費額ヲ要スルヲ以テ政府

ハ右金額ニ對シ御支給アランコトヲ望ム抑モ右列陳ノ條項中或ハ縣稅ヨリ支出ヲ
 許サ、ルモノアリ或ハ町村或ハ個人ノ義務ニ屬スルモノ一村又ハ一部落ヲ舉ケテ滿
 盡シ生存スルモノハ數十戸中老幼婦女ヲ併セテ毎戸纔ニ一兩名ニ過キサレモノア
 リ町村會スラ猶ホ且ツ之ヲ開クヲ得ス況ヤ其費用ヲ負擔スルニ於テオヤ然リト雖
 トモ費用支辨ノ道ナキヲ以テ之ヲ傍觀スルハ實ニ行政官廳ノ忍フ能ハサル所ニシ
 テ非常ニ處スルニハ非常ノ斷ナカルヘカラス小官ニ於テモ法律規則ノ範圍ニ入ル
 ヘキモノハ十分ニ之ヲ擴充シ又タ臨機ノ處分ヲ以テ施行スル等心力ヲ盡シテ之カ
 救濟ヲ務ムルモ意ノ如クナラザルモノ十中八九ニ居レリ管下幾萬ノ災民ハ已ニ造
 物者ノ爲メニ魂魄ヲ奪ヒ去ラレ社會ノ仁人政府ノ德政ヲ仰クノ外身ヲ容ル、ノ餘
 地ナシ仁人ノ慈善施與ハ之ヲ望ムヘキモ之ヲ必スル能ハス唯タ政府ノ斷然タル慈
 仁ノ政ヲ仰クノ外ナシトス而シテ幸ヒニ政府ニ於テ鄙見採納セラレ特ニ國庫費ノ
 下附アル時ハ其名義ハ救濟費トシ其内規ニ屬スル標準ハ兎モ角モ總テ地方官ノ適
 宜處辨ニ御一任アランコトヲ請フ貴電ノ趣ニ依リ別紙調書ヲ添へ鄙見陳述候也云
 々(別紙ハ略ス)

尋テ七月五日内務大臣ハ被害三縣宮城巖手青森知事ヲ東京ニ召集シ國庫救濟金下附ニ付三縣配付割合及ヒ右支給ニ關スル訓令案ヲ内示セラル依テ三縣知事ハ内務省ニ會合シ訓令ノ範圍内ニ於テ支給方法ヲ一定スルカ爲メ三縣申合内規ヲ定ム其内規左ノ如シ

救濟金支給法三縣申合内規

- 一 食料ハ滿三十日間備荒儲蓄金ノ救助ヲ受ケタルモノニシテ尙自ラ生活スル能ハサルモノニ之ヲ支給ス
- 二 食料ハ老幼男女ヲ問ハス一人一日玄米四合以内トシ現金ヲ以テ滿三十日分ヲ一時ニ支給ス但シ焚出米ハ一切支給セス
- 三 救助金ハ家宅ノ流失全潰半潰ニ係リシモノニ之ヲ支給ス
- 四 救助金ハ左ノ割合ニ依テ支給ス

- 一 一家老幼(六十歳以上十五歳未満)廢疾者ニシテ親族ノ救助ニ依リ難キモノニハ
- 一戸ニ付金參拾圓ヲ支給ス但シ被害ノ輕キモノハ本項金額ノ四割以内ヲ減ス
- 二 前項ニ該當スルモノ、外ハ國庫金下渡金ノ内ヨリ前項ニ係ル金額ヲ除キタル

殘額ヲ毎戸平均ニ割當支給ス

三前項ノ割合額一戸金貳拾圓以上ニ當ルトキハ貳拾圓ニ止ム

五被服家具料ハ家宅ノ流失全潰半潰ニ係リシモノニシテ被服家具ヲ失ヒタルモノニ之ヲ支給ス

六被服家具料ハ左ノ割合ニ依リ支給ス

- 一 國庫下渡金ヲ折半シ其半額ヲ戸數ニ半額ヲ人口ニ割當支給ス
- 但シ半潰ニ係ルモノハ戸數割人口割トモ流失全潰ニ對スル割付額四割以内ヲ減ス

二前項ノ割付額一戸金貳拾圓以上ニ當ルトキハ貳拾圓ニ止ム

七以上各項ハ三縣協議ノ上ニアラサレハ之ヲ更正セサルモノトス

八以上各項ニ掲クルモノ、外支給法ノ施行細目ニ涉ルモノハ三縣適宜ニ之ヲ定ム以上救濟金ノ内食料被服家具料及ヒ救助金ハ實地調査ノ上主務大臣ハ訓令及三縣申合内規ニ基キ災害ノ大小人口ノ多寡等ニ應シテ各人各戸ニ支給スルモノトシ死体埋葬費及ヒ潰家取片付費ハ死体ノ搜索埋火葬潰家及ヒ道路ノ取片付清潔法ノ施

行等ニ要スル人足其他ノ雜費ニ充テ縣費衛生費ト連帶支辨スルモノトシ負傷者救療費ト負傷者ノ救護ハ當初ヨリ日本赤十字社宮城支部ニ委託シタルヲ以テ其救療ニ要スル費用ノ補助ニ充テ該社ニ交付スルモノトシ尙ホ各費目過不足アルトキハ彼是流用支辨スルノ計畫ヲ定メテ施行シタリ

食料 是ノ時ニ方リ備荒貯蓄金特別支給法ニ依リ救助スル焚出米ハ已ニ法定ノ期限ニ達シ窮民飢渴ニ迫ルノ虞アルヲ以テ七月十三日被害三郡長ニ訓令シ先ツ食料ヲ給與セリ其訓令左ノ如シ

今般海嘯災害ニ付國庫ヨリ救濟金下附相成候ニ付テハ差詰食料給與候條右給與方左ノ通心得ラルヘシ

右訓令ス

明治二十九年七月十二日

知 事

本吉桃生社鹿三郡長宛

一食料ハ三十日間備荒儲蓄金ノ焚出米ヲ受ケタルモノニ限り之ヲ給與ス但シ本項

ノ給與ヲ受ケタルモノト雖トモ自活ノ道ヲ得タルモノニハ給與セス

二食料ハ老幼男女ヲ間ハス一人一日玄米四合(石代金八圓)ノ割ヲ以テ本月十六日ヨリ向フ三十日間給與ス

三食料ハ總テ代金ヲ以テ三十日分ヲ一時ニ其戸主ニ交付ス可シ但シ戸主ナキモノハ其家族ニ交付スヘシ

四食料ハ部落毎ニ給與スヘキ人名ヲ取調ヘ別紙書式ニ依リ臺帳ヲ作り其人名石數代金等ヲ記入シ照合ノ上交付スヘシ

五食料ヲ交付シタルトキハ別紙書式ノ受領證書ヲ徴スヘシ

受領證書ニハ戸主ヲシテ署名セシム可シ戸主ナキモノハ家族一同ノ連署ヲ要ス但實印ナキモノハ拇印ニテモ妨ケナシ

(別紙) 食料給與人名臺帳

字	名	番	地	人	名	戸	數	金	額

計				
---	--	--	--	--

(注意) 各人名ノ下ニハ石數金額記載ニ及ハス
(別紙)

受領證

一金

但食料 人分一人一日玄米四合七月十六日ヨリ八月十四日迄三十日分石代金壹石ニ付金 圓ノ割
右正ニ受取候也

明治二十九年七月 日

郡町番地戸主

宮城縣知事勝間田稔殿

(注意) 此受領證ハ戸主ヨリ差出スヘシ戸主ナキモノハ家族一同連署スヘシ但シ實印ナキモノハ拇印ニテモ妨ケナシ

翌十四日知事ハ食料給與ノ爲メ特ニ縣官三名ヲ被害三部ニ派遣シ郡長ト共ニ精密調査ノ上之ヲ給與セシメ同月十七日ヲ以テ結了セシカ爾後調査脱漏ノ旨ヲ以テ之レカ給與ヲ出願スルモノ尠カラス依テ再ヒ調査員ヲ派出シ同年八月一日ヲ以テ追々食料ノ給與ヲ終ヘタリ

食料給與明細表

郡名	町村名	戸數	人員	員米	額金	額
本吉郡	十三濱村	六七	三七四	四四、八八〇	三五九、〇四〇	
同	戸倉村	二六	一四五	一七、四〇〇	一三九、二〇〇	
同	志津川町	一四八	五九一	七〇、九二〇	五六七、三六〇	
同	歌津村	二五九	一、一七七	一四一、二四〇	一、一二九、九二〇	
同	小泉村	四四	二一〇	二五、二〇〇	二〇一、六〇〇	
同	御嶽村	一	九	一、〇八〇	八、六四〇	
同	大谷村	七八	三四六	四一、五二〇	三三二、一六〇	

本吉郡	階上村	九九	三八三	四五、九六〇	三六七、六八〇
同	松岩村	一	一	一二〇	九六〇
同	鹿折村	四	二七	三、二四〇	二五、九二〇
同	大嶋村	一一	六四	七、六八〇	六一、四四〇
同	唐桑村	一九六	八三五	一〇〇、二〇〇	八〇一、六〇〇
計		九三四	四、一六二	四九九、四四〇	三、九九五、五二〇
桃生郡	十五濱村	八七	四八〇	五七、六〇〇	四六〇、八〇〇
同	大川村	三	一七	二、〇四〇	一六、三二〇
計		九〇	四九七	五九、六四〇	四七七、一二〇
牡鹿郡	女川村	一九	一一〇	一四、四〇〇	一一五、二〇〇
同	大原村	四	二九	三、四八〇	二七、八四〇
計		二三	一四九	一七、八八〇	一四三、〇四〇
合計		一、〇四七	四、八〇八	五七六、九六〇	四、六一五、六八〇

被服家具料及ヒ救助金 食料ハ大抵備荒儲蓄金焚出米給與ノ調査ニ基キ之ヲ給與シタリト雖トモ被服家具料及ヒ救助金ハ最モ精細嚴密ニ調査ノ上給與スルニアラナレハ或ハ濫費ノ虞ナキニアラサルヲ以テ知事ハ七月十五日ヲ以テ救濟金ノ内被服家具料救助金備荒儲蓄金ノ内小屋掛料農具料給與戸別人名調査書式及ヒ調査例並ニ給與戸口調査員同立會員規則ヲ定メ郡長ニ訓令セリ蓋シ備荒儲蓄金ハ當初罹災民ノ願出ニ依リ給與スルノ内定ナリシモ救助金ト農具料トハ併給スルヲ得ス且ツ小屋掛料ノ如キモ半壞以上ノ災民ニ給與スルノ精神ナルヲ以テ救濟金ト同シク各人ノ願出ヲ俟タス實際ノ調査ニ基キ同時ニ同一ノ方法ヲ以テ給與スルノ便宜ニシテ且確實ナルヲ認メ同一ニ調査給與スルモノトナシタリ其訓令左ノ如シ

今般海嘯災害ニ付救濟金トシテ金五萬九千六百五拾圓第二豫備金ヨリ支出相成候ニ付キテハ食料給與ニ係ル分ハ不取敢本月十三日付訓第七八號ヲ以テ及訓令候處右救濟金支給法ニ關スル内務大臣訓令並ニ岩手青森宮城三縣申合内規寫各一通交付候條右ノ趣旨ニ依リ救濟金ヲ以テ給與スヘキ救助金及ヒ被服家具料其他備荒儲蓄金給與ニ係ル小屋掛料農具料共別紙書式ニ依リ取調本月二十五日限

リ差出サル可シ

右訓令ス

明治二十九年七月十五日

本吉桃生牡鹿三郡長宛

知事

第一號

救済金及備荒儲蓄金給與戸數人員表

何郡何町(村)

部落名	小屋掛料	衣服家具料		救助金	戸數		
		人員	人員		農	具	料
					甲	乙	

記載例

一本表ハ一部落毎ニ其部落内ニ於テ救済金及備荒儲蓄金ノ給與ヲ受クヘキモノト

戸數人員等ヲ調査シ各町村別ニ調製記載スルモノトス

一 小屋掛料及ヒ救助金ノ欄ニハ小屋掛料又ハ救助金ヲ受クヘキ戸數ヲ記載スヘシ

一 衣服家具料ノ欄ニハ衣服家具料ヲ受クヘキ戸數及人員ヲ記載スヘシ

一 農具料ノ欄ニハ農具料ノ給與ヲ受クヘキ戸數ヲ記載シ其甲ノ部ニハ農作ニ從事

シ得ヘキモノ五人以上アル戸數乙ノ部ニハ同五人未満アル戸數ヲ記載スヘシ

第二號

小屋掛料給與戸數調査表

何郡何町村大字何々

番	地	職	業	戸主又ハ家長	流	潰	姓	名

記載例

- 一本表ハ一部落毎ニ家宅ノ流失全潰半潰ニ係リタルモノニシテ小屋掛料ヲ給與スヘキモノヲ調査シ戸主アルモノハ其戸主戸主ナキモノハ其遺族ノ酋長者ノ姓名ヲ連載スルモノトス
- 一職業ノ欄ニハ其家ノ重ナル職業ヲ調査シ農業漁業商業工業雜業ノ五種トシ記載スヘシ
- 一戸主又ハ家長ノ欄ニハ戸主又ハ家長ト記載ス可シ
- 一流潰ノ欄ニハ流失全潰半潰ノ三種トシ記載スヘシ

衣服家具料給與戸別人名調査表

町村名	部落名	番地	職業	戸主	家族	流潰	姓名

記載例

- 一本表ハ罹災者ニシテ其家宅半潰以上ノモノヲ調査シ毎戸別其戸主家族ノ人名ヲ記載スルモノトス但シ一戸分ヲ一紙ニ記載スヘシ
- 一職業ノ欄ニハ其家ノ重ナル職業ヲ調査シ農業漁業商業工業雜業ノ五種トシ記載スヘシ
- 一戸主家族ノ欄ニハ戸主又ハ家族ト記載スヘシ
- 一流潰ノ欄ニハ流失全潰半潰ノ三種トシ記載スヘシ

救助金給與戸別人名調査表

町村名	部落名	番地	職業	戸主	家族	疾	疾	姓名	年	齡

記載例

一本表ハ其家宅半潰以上ニシテ農具料ヲ給與ス可キモノヲ除キタルモノヲ調査シ
 毎戸別其戸主家族ヲ記載スルモノトス但一戸分ヲ一紙ニ記載スヘシ
 一職業ノ欄ニハ其家ノ重ナル職業ヲ調査シ漁業、商業、工業、雜業ノ四種トシ記載スヘシ
 一戸主家族ノ欄ニハ戸主又ハ家族ト記載スヘシ
 一廢疾篤疾ノ欄ニハ左ノ區別ニ從ヒ第一種、第二種、第三種、第四種ト記載スヘシ
 第一種 一肢ノ用ヲ失ヒタルモノ若クハ之ニ準ス可キモノ
 第二種 一肢ヲ亡シ或ハ二肢ノ用ヲ失ヒ又ハ兩眼ヲ盲シ若クハ二肢ヲ亡シ若シ

クハ之ニ準ス可キモノ

第三種 嘔、瘋、癩、白癩

第四種 負傷其他ノ病患ニ依リ六箇月以内ニ生業ニ從事スルコトヲ得サルモノ

一年齡ノ欄ニハ本年六月ヲ現在トシ調査シ何年何ヶ月ト記載スヘシ

第五號

農具料給與戸別人名調査表

町村名	部落名	番地	戸主	廢疾	篤疾	姓名	年齢

記載例

一本表ハ其家宅半潰以上ニシテ救助金ノ給與ヲ受クヘキモノヲ除キタルモノヲ調査シ毎戸別其戸主家族ノ人名ヲ記載スルモノトス但一戸分ヲ一紙ニ記載スヘシ其他各欄ハ總テ前表記載例ニ同シ

(内務大臣訓令三縣申合内規重出ニ付略ス)

訓第八三號

今般訓第八二號ヲ以テ救助人員等調査方訓令候處右調査ノ標準等區々ニ涉リ候テハ其結果甲乙不權衡ヲ生シ不都合ニ候條別紙ノ通り調査員立會員規則相設候間右ニ依リ正確ニ調査セシメ候様取計ハル可シ
右訓令ス

明治二十九年七月十五日

知事

本吉桃生社鹿三郡長宛

調査員立會員規則

一海嘯被害地ヲ分テ左之七區トシ立會員調査員出張ノ上其區内ニ於テ救濟金及備荒儲蓄金ノ救助ヲ受クヘキ戸數人員等ヲ調査スヘシ

- 第一區 唐桑 大島 鹿折
 - 第二區 大谷 階上 松岩 御嶽
 - 第三區 小泉 歌津
 - 第四區 志津川
 - 第五區 戸倉 十三濱
 - 第六區 十五濱
 - 第七區 女川 結川
- 二立會員ハ知事之ヲ命ス其人員左ノ如シ
每區 屬一人 警部一人
- 三調査員ハ郡長之ヲ命ス其人員左ノ如シ
每區 郡書記一人
- 區内每町村 町村長又ハ其代理者各一人區内每部落 區長又ハ罹災者總代人各二人以内
- 四立會員ハ調査員ニ於テ調査スル事項ヲ監査スルモノトス但調査員ニ於テ不當ノ

調査ヲ爲シタリト認ムルトキハ之ニ注意ヲ與ヘ若シ之ヲ用キサルトキハ一面ハ
郡長ニ通知シ一面ハ知事ニ報告スヘシ

五 調査員ハ左ノ趣旨ニ依リ調査スヘシ

- 一 救済金ハ罹災ノ窮民ニシテ自活ノ道ヲ失シタルモノヲ救助スルニ在リ吊慰慈
善的ニ給與スルノ精神ニアラス
- 二 救助金ハ右ノ趣旨ニ從ヒ假令災害ニ罹リタルモノト雖モ多少ノ財産ヲ有シ自
活ノ道ニ窮セサルモノニハ給與セサルモノトス
- 三 農具料ヲ給與スルモノニハ救助金ヲ給與セサルモノトス
- 四 救済金ハ家宅ノ全潰流失半潰ニ至ラサルモノニハ給與セサルモノトス
- 五 罹災ノ爲メ全戸滅亡シタルモノト雖モ相續人ヲ定メタルモノニハ相續人ニ對
シ救助スルモノトス
- 六 戸數人口等ハ七月二十日現在ヲ以テ調査スルモノトス
- 七 救済金及ヒ備荒儲蓄金ノ救助ヲ受クルモノニハ公民權ヲ停止セララルモノトス
但シ焚出米ハ此限ニアラス

八 前各項ノ外ハ各調査表ノ記載例ニ依リ調査スヘシ

六 調査ハ遅クモ七月二十三日ヲ以テ終了スヘキモノトス

七 調査員調査ヲ了シタルトキハ其調査ノ確實ナルヲ証明スルカ爲メ調査書ノ末尾
ニ連署シ立會員ノ証印ヲ受ケ郡長ニ差出ス可シ

尋テ七月十六日ヲ以テ屬警部各七名ニ給與戸口調査立會員ヲ命シ即時各區ニ出張
セシメ調査員ノ調査ヲ監視セシメタルカ同月三十一日ニ至リ各郡ノ調査全ク結了
シ其調査書ヲ本廳ニ進達セシニ依リ八月一日知事ハ審査考慮ノ上救済金及ヒ備荒
儲蓄金救助内規ヲ左ノ通り定メタリ

救済金及ヒ備荒儲蓄金給與規定

- 一 小屋掛料ハ左ノ金額ヲ給與ス
 - 一 戸ニ付金拾圓
- 一 農具料ハ左ノ區分ニ依リ給與ス
 - 農作ニ従事スヘキモノ五人以上ハ一戸ニ付金拾五圓
 - 同上五人未滿ハ一戸ニ付金拾圓

農作ニ従事スヘキモノトハ七十歳以下十五歳以上ノモノヲ云フ
一被服家具料ハ左ノ區分ニ依リ給與ス
流失全潰ハ

戸別割ハ一戸ニ付金七圓五拾錢
人別割ハ家族四人迄ハ一戸ニ付金七圓五拾錢五人以上ハ一人ヲ増ス毎ニ金貳圓ヲ遞加ス
半潰ハ

戸別割ハ一戸ニ付金六圓七拾五錢
人別割ハ家族四人迄ハ一戸ニ付金六圓七拾五錢五人以上ハ一人ヲ増ス毎ニ金壹圓八拾錢ヲ遞加ス
一救助金ハ左ノ區分ニ依リ給與ス
一戸ニ付金貳拾圓

一戸悉ク老幼癡篤疾者ナルトキハ流失全潰ハ特ニ金拾圓半潰ハ特ニ七圓ヲ増給ス
老トハ六拾歳以上幼トハ拾五歳以下ヲ云ヒ癡疾トハ一肢ノ用ヲ失ヒタルモノ若

クハ之ニ準ス可キモノ又ハ一肢ヲ亡シ或ハ二肢ノ用ヲ失ヒ又ハ兩眼ヲ盲シ若クハ二肢ヲ亡シ若クハ之ニ準スヘキモノ及ヒ啞、瘋癲、白痴ヲ云ヒ篤疾トハ負傷其他ノ病患ニ依リ六ヶ月以内ニ生業ニ従事スルコトヲ得サルモノヲ云フ

一農具料ヲ給與スルモノニハ救助金ヲ給與セス
右内規ニ依リ本廳ニ於テハ各郡調査書ニ基キ各戸ニ給與スヘキ金員ヲ算出査定シ

同月五六兩日ヲ以テ右給與方ニ關シ知事ハ被害三郡長ニ左ノ通り訓令セリ
海嘯罹災民ヘ己ニ恩賜金並ニ食料ヲ交付シ小屋掛料農具料並ニ被服家具料救助金及ヒ義捐金等不日交付スヘキ筈ニ付右諸種ノ金員ハ専ラ生産物ノ元資ニ充テ飲食其他不急ノ費途ニ用ヒ濫費セサル様保護ヲ加フ可ク又町村ニ於テ立換タル金穀等ハ勿論他ノ債主ニ於テ貸金返戻ヲ促カシ之レカ償却ニ充テシムルカ如キコトアリテハ優渥ナル

聖慮ニ背キ政府救恤ノ本旨ニ戻リ志士仁人ノ好意ヲ空フスルモノニシテ是等ハ德義上爲ス可カラサル儀ニハ候得共災民保護上右等ノ事無之様注意致スヘキ旨
町村長ヘ厚ク訓諭セララルヘシ

明治二十九年八月五日

知事

二〇八

本吉桃生牡鹿三郡長宛

救済金及ヒ備荒儲蓄金給與調査結了ニ付右給與方心得別紙ノ通相定候條此旨町
村長ヘモ訓示シ置キ諸事不都合無之様取計ハル可シ但未了年者給與金ハ追テ何
分ノ儀訓令候マテ郡長ニ於テ保管スヘシ

明治二十九年八月六日

知事

本吉桃生牡鹿三郡長宛

(別紙) 救済金及ヒ備荒儲蓄金給與心得

一 救済金及ヒ備荒儲蓄金給與ノ爲メ左ノ各町村ニ縣屬及ヒ郡書記ヲ派出ス可シ
本吉郡

志津川町	二名	郡書記	二名
戸倉村	二名		
歌津村	二名		
十三濱村	一名		

唐桑村	二名	同	二名
鹿折村	一名	同	一名
小泉村	一名	同	一名
御嶽村	一名	同	一名
大谷村	一名	同	一名
階上村	一名	同	一名
松岩村	一名	同	一名
大島村	一名	同	一名
桃生郡 十五濱村	一名	同	一名
大川村	一名	同	一名
牡鹿郡 女川村	一名	同	一名
大原村	一名	同	一名
鮎川村	一名	同	一名

二〇九

- 一 派出員ハ來ル九日ヲ期シ本吉郡ハ志津川氣仙沼桃生郡ハ飯野川牡鹿郡ハ石巻ニ於テ金庫員ヨリ各自ニ給與スヘキ現金ヲ受取リ擔當町村ニ出張ス可シ但シ金庫ニ於テハ豫メ各自ニ給與スヘキ金員ヲ區分シ便宜封筒ニ封入シ置クモノトス
- 一 派出員ハ現金携帶中危險ヲ豫防スル爲メ便宜警察官吏ノ護衛ヲ求ム可シ
- 一 給與金ハ町村役場ニ於テ町村長區長立會ノ上派出員自ラ戸主又ハ家長ニ交付シ領收證書ヲ徵ス可シ其戸主未丁年者ニシテ後見人ナキモノハ其戸主並ニ一家中丁年以上ノ最近親者ニ交付シ領收證書ニハ連署セシムルヲ要ス但場所ノ遠近ニヨリ便宜其小學校又ハ區長宅ニ於テ交付スルモ妨ケナシ
- 一 給與金ノ給與ヲ受クヘキモノ當日病氣又ハ不在ニシテ自ラ領收スル能ハサルトキハ代理人ニ交付スルモ妨ケナシ但シ代理人ハ區長及ヒ町村長ノ證明シタル委任狀ヲ提出シタルモノニ限ル
- 一 一家盡ク未丁年者ナルトキハ別紙書式ノ書面ヲ交付シ置キ現金ハ郡長ニ預ケ入レ郡長ノ預リ證書ヲ徵スヘシ

一 派出員給與ヲ終リタルトキハ縣廳派出員ハ領收證書ヲ取纏メ直ニ歸縣ス可シ
 (別紙書式) 郡町(村)大字番地 何 某
 明治何年何月生

- 一金 但小屋掛料
 - 一金 但農具料又ハ救助金
 - 一金 但被服家具料
 - 合金何拾圓
- 右本日交付スヘキ管ノ處未丁年者保護ノ目的ヲ以テ前金額ハ暫時郡役所ニ保管セシメ追テ交付セシムヘシ
- 尋テ同月七日屬拾四人ニ派出員ヲ命シ各擔當町村ニ出張セシメ尙ホ給與ヲ受ケタ

ル罹災民ヲシテ可成給與金ヲ保管預ケトナシムルノ見込ヲ以テ銀行員同行ニテ各方面ニ出張セシメタルカ同月十三日ニ至リ三郡ノ給與全ク結了セリ其結果給與(救済金備荒儲蓄金)總戸數千二百四十七戸此金員五萬六千參百參拾九圓參拾錢ニシテ内郡長ニ於テ保管セシモノ參千六拾五圓拾錢銀行ニ於テ保管預リトナシタルモノ四萬參百貳拾五圓五拾錢ナリ

然ルニ爾後調査脱漏等ニ依リ之レカ給與ヲ出願スルモノアルヲ以テ更ニ立會員ヲ命シ前調査ヲシテ調査例ニ照ラシテ再調査ヲ爲サシメ救済金備荒儲蓄金ヨリ追給セリ

死体埋葬費 海嘯ノ當時被害地所在ニ堆積シタル累々タル人畜ノ死体ハ警察官吏又ハ郡町村吏員ニ於テ人夫ヲ使役シ潰家ト共ニ一時取片付ヲ爲シ親戚故舊アルモノハ之レニ引渡シ其他ハ最寄便宜ノ地ニ假埋葬ヲ爲シタリト雖モ沿岸數十里ノ廣キ爾來海上又ハ海岸ニ於テ發見スルモノ續々トシテ絶ヘス是等ノ死体中引取人ナキモノハ行旅死亡人ニ準シ所轄町村役場ニ於テ一々成規ヲ踏ミ警察官ノ檢視ヲ受ケ新聞紙ニ廣告シ假棺ヲ作りテ假埋葬ヲ爲シ其費用ハ町村費ヲ以テ立換置キ追テ

本廳ニ請求セシメ來リシモ災後十數日ヲ經過シタル死体ハ顔面腐爛シ其何人タルヲ認識スル能ハサル者比々皆然ラサルハナキヲ以テ是等ノ死体ヲ盡ク行旅死亡人ニ準シ取扱ハシムルトキハ其費用増嵩シテ國庫下渡金ニテハ到底保支スル能ハサルニ至ルノ恐レナキニアラス且ツ腐爛セル死体ヲ土葬トスルトキハ惡疾流行ヲ煤助スルモ測ラレサルヲ以テ知事ハ七月十六日ヲ以テ其制限ヲ設ケテ盡ク火葬トナスノ必要ヲ認メ沿海六郡長ニ左ノ通り訓令セリ

海岸又ハ海中ニ於テ發見シタル罹災者ノ死体ハ最早腐爛シ其何人タルヲ認ムル能ハサルヲ以テ自今發見シタル死体ハ警察官吏ノ檢按ヲ受ケ死体一人ニ付金七拾五錢以内ヲ以テ火葬シ其費用ハ警察官吏ノ證明書ヲ添ヘ其都度本廳ニ請求候様示達方取計ヲ可シ但シ本文發見ノ死体ハ新聞紙ニ廣告ヲ要セス

明治 年 月 日

知 事

爾來沿海各郡村ヨリ死体埋火葬ノ費用ヲ請求スルモノ頗ル多キモ尙其遺漏アラシコトヲ恐ル、ト同時ニ町村長ノ請求ヲ俟チ隨時之ヲ交付スルトキハ幾十日ヲ經過スルモ終ニ決算ノ期ナキニ至ルヲ慮リ知事ハ更ニ沿海六郡長ニ訓令シ本年六月海

嘯後沿岸又ハ海中ニ於テ屍体ヲ發見シ町村費ヲ以テ繰替埋火葬シタルモノハ本年七月訓令前後ヲ區分シ仕譯書ニ正當受領證書ヲ添付シ八月二十五日限り請求ス可キ旨部内町村長ニ嚴達セシメタリ

潰家取片付費 海嘯後被害各部落ハ家屋ノ潰倒シタルモノ岩石ノ崩落シタルモノ樹木ノ轉倒シタルモノ到ル所ニ堆積充滿シ道路ヲ梗塞シ交通ヲ遮斷スルノミナラス人畜ノ死体其間ニ埋没シ之レカ取片付ヲ爲スニアラサレハ死体ノ搜索埋葬ヲモ爲ス能ハサルニ依リ郡町村吏員警察官吏ハ郡内最寄各部落ヨリ微發的人夫ヲ募集シ晝夜指揮シテ之レカ取片付ヲ爲サシメタルモ時恰モ農桑多忙ノ期ニ際シ容易ニ之レカ募集ニ應スルモノナキノミナラス郡内應募ノ人夫ハ一時幾萬ノ多キニ及ヒタルモ其勞働ノ過激ナルカ爲メ就役未タ數日ナラスシテ忽チ疲勞シ其用ニ堪ヘサルニ至ルモノ尠カラス是ヨリ先キ知事ハ死体及ヒ潰家取片付ハ救急中ノ最モ急務ナルモノトシ縣稅中衛生費ヨリ支出スルノ見込ヲ以テ縣參事會急施會ノ議決ヲ取リ一時縣債ヲ起シテ之レカ需用ニ應スルノ計畫ヲ定メタルカ此ニ至リ到底郡内人夫ニテハ供給スル能ハサルヲ慮リ廣ク郡外ヨリ募集スルノ方針ヲ取リ仙臺栗原登

米遠田等各郡ニ飛電シテ之ヲ募集シ本吉郡ハ志津川氣仙沼兩出張所桃生牡鹿二郡ハ郡役所ニ於テ各被害部落ノ需用ニ應シ之ヲ供給セシメタリ其貸錢ハ郡内ヨリ募集ノモノハ一人一日貳拾五錢自賄參拾五錢郡外ヨリ募集ノモノハ同上貳拾四拾錢自賄五拾錢トシ精算ノ結果人夫賄料汽車賃船賃酒代等ノ雜費及ヒ人夫賃ノ幾分ハ總テ縣稅ノ支辨トシ其他ノ人夫賃ハ本費ヨリ支辨スルモノトセリ

負傷者救療費 負傷者ノ救療ハ總テ日本赤十字社宮城支部ニ委託セリ初メ被害ノ起ルヤ同社ハ率先被害地ニ出張シテ臨時病院十一ヶ所救護所一ヶ所ヲ開キ醫師及ヒ看護人ヲ派遣シ救療物品ヲ送達シ以テ幾千ノ負傷者ヲ治療シタルハ臨時病院設置ノ部ニ詳述スルカ如シ其功勞ノ顯著ナル被害者ノ感銘忘ル、能ハサル所ニシテ本縣救護上便益ヲ得タル其幾何タルヲ知ラス是レ偏ニ該社博愛慈善ノ主義ニ出テタルモノニシテ當初ヨリ之レカ報酬ヲ望ムノ意ナキヤ明ナリトス今ヤ幸ニ國庫救濟金ノ下附アリ以上各費目過不足流用支辨ノ上本費ニ於テ尙ホ千八百圓ヲ餘スヲ得タルヲ以テ之ヲ該社ニ交付シ以テ救療ニ要セシ社費ノ幾分ヲ補助セリ其達左ノ如シ

日本赤十字社宮城支部

海嘯罹災者救療費補助トシテ金千八百圓交付ス

明治三十年二月二十六日

知事

以上各費目ノ有餘不足ハ彼是流用シテ以テ其決算ヲ了セリ其收支決算左ノ如シ

國庫救濟金計算書

一金五萬九千六百五拾圓

國庫金下付高

内

- 金貳萬壹千六百八拾四圓八拾錢
- 金貳萬四百六拾七圓
- 金四千六百拾五圓六拾八錢
- 金壹千貳拾七圓四拾貳錢五厘
- 金九千參百九拾貳圓七拾五錢
- 金貳千四百五拾九圓貳錢六厘
- 計金五萬九千六百四拾六圓六拾八錢壹厘

- 被服家具料
- 救恤金
- 食料
- 死体埋葬費
- 潰屋取片付費
- 負傷者救濟費

殘金參圓參拾壹錢九厘

返納

被服家具料及救恤金明細表

郡名	町	村	名	戶數	被服家具料	救恤金	金額
牡鹿郡	女川	川村	村	三	六圓	八	130,000
	大原	川村	村	八	四圓	三	60,000
	鮎川	川村	村	一	三圓	一	10,000
計				一二	一三圓	一一	190,000
桃生郡	十五濱	濱村	村	一五〇	八六五圓	一一三	227,000
	大川	川村	村	三	一六圓	一	—
計				一五三	八八一圓	一一四	227,000
本郡	志津川	川町	町	一七三	七五〇圓	一五	310,000
	十三濱	濱村	村	六六	五三圓	五三	130,000
	戸倉	倉村	村	四	二五圓	四	70,000
計				二四三	一,〇七五圓	七二	410,000

郡	吉									
	歌津村	小泉村	御嶽村	松岩村	鹿折村	階上村	大谷村	大島村	唐桑村	計
計	二六六	五五	三	三	一〇	一〇二	八五	二五	二六	一一五
合	一三三四	二六三	一八	一七	八二	三二二	三七四	一九	一〇二	五三七
	四九,〇〇〇	八九,一〇〇	四〇,〇〇〇	四七,〇〇〇	一九四,〇〇〇	一六五,一〇〇	一四三,五〇〇	四八,八〇〇	三,九四〇,〇〇〇	一八六,七〇〇
	三三	三九				七二	四三	二〇	二二	八六四
	四,五〇〇,〇〇〇	七六〇,〇〇〇			一〇〇,〇〇〇	一,五八〇,〇〇〇	八六〇,〇〇〇	四〇〇,〇〇〇	四,五四〇,〇〇〇	一七六,〇〇〇,〇〇〇
	二,〇〇〇				五					一,〇〇七
	二,〇〇〇									二,〇〇七

(第三) 備荒儲蓄金

海嘯ノ慘害ニ罹ルヤ所轄各郡長ハ知事ノ訓令ニ基キテ不取敢一時焚出米ヲ給與セ

シト雖モ本縣備荒儲蓄金管理支給規則ハ焚出米ハ災後七日ヲ超ユルヲ得ス其他食料小屋掛料農具料ノ如キモ一定ノ制限アリテ其範圍ヲ出ルヲ許サス然ルニ今回ノ災害タル古來未曾有ノ天災ニシテ其區域三郡ノ廣キニ亘リ就中本吉郡沿岸各村ノ如キハ其慘狀最モ甚シク衣食住居ヲ失ヒ道塗ニ彷徨號泣スルモノ幾萬ヲ以テ數ヘ現行支給規則ニテハ範圍狹隘ニシテ實際適應ノ救助ヲ爲ス能ハス殊ニ食料ノ如キハ炊具ヲ亡失シタルモノ十中八九ニ居ルヲ以テ玄米若クハ代金ヲ支給スルモ之ヲ炊ク能ハサルノ狀況ナルニ依リ知事ハ特別支給法ヲ設ケ食料ハ總テ焚出米ヲ以テ給與シ小屋掛料農具料ノ如キモ備荒儲蓄法制限ノ極度ヲ給シ以テ是等非常災民ヲ救助スルノ必要ヲ認メ六月二十二日ヲ以テ縣參事會ノ議決ヲ取リ備荒儲蓄金特別支給法ヲ設ケ主務大臣ノ許可ヲ乞ヒ同時ニ備荒儲蓄金收入豫算ニ金四萬七千百貳拾五圓ヲ追加シ内金參萬六千餘圓ハ中央儲蓄金ノ補助ヲ請フノ見込ヲ以テ主務大臣ニ稟申セリ今左ニ特別支給法及追加支出豫算ノ細目ヲ掲ク

備荒儲蓄金特別支給方法

明治二十九年六月十五日海嘯ノ害ニ罹リタル窮民ニ限リ備荒儲蓄金管理支給規則

- ニ依ラス左ノ割合ヲ以テ食料小屋掛料農具料ヲ支給ス但種穀料ハ之ヲ給セス
- 一食料ハ老幼男女ヲ問ハス一人ニ付一日下白米四合ノ割合菜代薪代炊夫賃等ハ實費ニ依リ總テ焚出米ヲ以テ三十日間之ヲ給ス
- 一小掛料ハ家屋ノ流失破壊シタルモノハ家族ノ人員ニ拘ハラヌ一戸ニ付金拾圓ヲ給ス
- 一農具料ハ耕作ニ從事シ得ルモノ五人未滿ハ一戸ニ付キ金拾圓五人以上ハ同金拾五圓ヲ給ス

備荒儲蓄金追加豫算細目

- 一金壹萬五千圓 小屋掛料
- 但流失破壊凡ソ千五百戸一戸金拾圓ノ割
- 一金壹萬壹千五百圓 農具料
- 但農作ニ從事スル者五人以上三百戸一戸拾五圓五人未滿七百戸一戸金拾圓
- 一金貳萬六百貳拾五圓 食料
- 但罹災戸數凡ソ貳千五百戸人員一萬二千五百人一人一日白米四合菜代等壹錢

五厘ノ割

合金四萬七千貳拾五圓

六月二十五日中央儲蓄金補助トシテ先以テ金壹萬圓ヲ交付シ仕拂命令ヲ委任スル旨内務大臣ヨリ電達アリ尋テ七月一日備荒儲蓄金特別支給許可ノ指令ヲ得タルヲ以テ之ヲ管内ニ告示シ且ツ右支給方法ニ關シ被害三郡長ニ左ノ通訓令セリ

今般備荒儲蓄金特別支給法相定メ候ニ付テハ右施行方法左ノ通心得ラルヘシ
年 月 日 知 事

本吉桃生牡鹿三郡長宛

- 一食料ハ郡長限リ各町村便宜ノ地ニ於テ支給法ノ範圍内ヲ以テ焚出米ヲ爲スヘシ
- 焚出米ハ其給與ノ周到ニシテ遺漏ナカラントヲ期スルト同時ニ濫費ニ流レサル様深ク注意ヲ加ヘ被救者ノ員數ヲ正確ニ調査シ其實數ニ應シテ之ヲ給與シ其自活ノ途ヲ得タルモノハ隨時之ヲ扣除シ費額ノ節減ヲ務ム可シ
- 一小屋掛料ハ家屋ノ流失シタルモノハ勿論破壊セシモノト雖モ實際住居ニ任ヘサルモノハ之ヲ給與スルノ精神ナルヲ以テ是亦其實數ヲ調査シ支給法ニ該當スル

ト認ムルモノハ本人若クハ總代人ヲシテ本廳ニ出願セシム可シ
 一 農具料ハ田畑ヲ所有スルト否トニ拘ハラズ從來農業ニ従事スルモノニシテ農具ヲ失ヒタルモノニ給與スヘキモノナルヲ以テ其實際ヲ調査シ耕耘ニ従事シ得ル家族ノ人員ヲ記載シ前項同様出願セシム可シ

食料 各郡長ハ右ノ訓令ニ依リ食料ハ總テ焚出米ヲ以テ給スルモノトシ各町村長ニ令達シテ引續キ焚出ヲ給與セシメタリ然ルニ爾來焚出米給與ノ實況ヲ調査スルニ其給與方各郡區々一定セサルノミナラス其間互ニ厚薄アリ萬一已ニ自活ノ道ヲ得タルモ依然尙之レカ給與ヲ受クルカ如キコトアリテハ災民救助ノ本旨ニ違フヲ以テ其調査書ヲ徴シ其給與方ヲ一定シ濫費ノ弊ナカラシメンカ爲メ電報ヲ以テ三郡長ニ左ノ通り訓令セリ

救助焚出米ハ左ノ各項ニ該當スルモノニ給與スヘシ且ツ至急其人員戸數取調差出ス可シ

年 月 日

本吉桃生杜鹿三郡長宛

知 事

一流失及ヒ皆潰家ニ係ルモノ

但自食シ得ルモノハ之ヲ除ク

一半潰家ニ係ルモノ

但同前

一半潰家ニ至ラサルモ貧困ナルモノ

斯クテ七月十五日ヲ以テ食料給與ノ制限即チ滿三十日ニ達シタルヲ以テ焚出米ノ給與ヲ停止セリ其給與明細表ヲ示スコト左ノ如シ

明治二十九年海嘯災害救助明細表

郡名	町村名	米	金	員	雜費	人員
本吉郡	大谷村	100,000	1,000,000	30,000	30,000	30,000
同	階上村	107,000	1,070,000	40,125	40,125	40,125
同	唐桑村	330,000	3,300,000	113,750	113,750	113,750
同	大島村	39,000	390,000	14,250	14,250	14,250

本吉郡	鹿折村	四,000	四,000	一五,000	一,000
同	小泉村	六九,000	六九,000	二八,七五〇	一七,二五〇
同	志津川町	九,000	九,000	三,四八七五〇	二,三二五〇
同	歌津村	三〇,000	三〇,000	一三,六一二五〇	七,五七五〇
同	十三濱村	一五,000	一五,000	五,六一五〇〇	三,七五〇〇
同	戸倉村	三八,000	三八,000	一四,二五〇〇	九,五〇〇
計		一三三,000	一三三,000	四,六八,七五〇	三〇,九二五〇
桃生郡	十五濱村	一〇,000	一〇,000	七,一七五〇	五,〇〇〇
同	大川村	五,000	四,000	一五,000	一,000
計		一五,000	一四,000	二二,一七五〇	六,〇〇〇
牡鹿郡	大原村	七,000	七,000	二六,一五〇	一,七五〇
同	女川村	四,000	四,000	一八,〇〇〇	一,〇〇〇
同	鮎川村	三,000	三,000	一一,一五〇	〇,七五〇

合	計	一,五〇〇,〇〇〇	一,五〇〇,〇〇〇	五,六二五,〇〇〇	三,七五〇,〇〇〇
---	---	-----------	-----------	-----------	-----------

小屋掛料農具料 小屋掛料農具料ハ當初罹災民ノ出願ヲ待テ調査ノ上給與スルノ見込ナリシカ偶々國庫救濟金ノ交付アリ該金ハ毎戸被害ノ大小等ヲ精密ニ調査シ給與スルモノトナシタルニ依リ備荒儲蓄金モ其出願ノ有無ニ拘ハラヌ同時ニ同一ノ方法ヲ以テ調査シ之ヲ給與スルノ確定ニシテ且ツ遺漏ナキヲ認メ特ニ調査員立會員等ヲ定メ精密調査ノ上支給セリ其調査給與ノ方法ハ救濟金ノ部ニ詳記セルヲ以テ茲ニ之ヲ畧ス左ニ給與明細表ヲ掲ク

備荒儲蓄支出

郡名町	村名	小屋掛料	農具料	計
本	志津川町	一六,一〇,〇〇〇	一七五,〇〇〇	一六,五五,〇〇〇
	歌津村	二九,一〇,〇〇〇	八五五,〇〇〇	三〇,七五,〇〇〇
	十三濱村	八四〇,〇〇〇	三三〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇

青		桃		生		郡	
戸倉村	450,000	小泉村	500,000	御嶽村	100,000	大谷村	500,000
	1,150,000		1,190,000		1,500,000		1,110,000
階上村	950,000	唐桑村	2,380,000	鹿折村	100,000	大島村	1,300,000
	3,300,000		1,650,000		500,000		2,550,000
松岩村	300,000	計	10,280,000	計	1,750,000	計	1,750,000
	550,000		2,270,000		3,000,000		1,600,000
十五濱村	1,150,000	大川村	300,000	計	1,750,000	計	1,750,000
	3,350,000		3,000,000		2,550,000		1,750,000

牡		鹿		郡		合	
大原村	800,000	女川村	1,100,000	計	1,150,000	計	1,750,000
	600,000		450,000		1,050,000		1,550,000
	1,400,000		1,550,000		2,200,000		3,300,000
	10,000		10,000		20,000		30,000

(第四) 義捐金

海嘯ノ慘聞四方ニ傳播スルヤ金員ヲ投シテ救濟ノ資ニ充テントトヲ請フモノ日ニ萬ヲ以テ數フ是ニ於テ知事ハ海嘯臨時部中特ニ義捐金取扱主任ヲ置キ其領收シタル金員ハ國立銀行ニ保管預ケトナシ其金員及ヒ姓名ハ新聞紙ニ廣告シ以テ領收ノ証左ニ換ヘ其金額拾圓以上ノモノニハ知事ノ名ヲ以テ特ニ謝狀ヲ贈與セリ又直接被害地ニ向テ義捐セシモノハ郡長ヲシテ受領ノ手續ヲ爲サシメ其金員ハ取纏メ之ヲ本廳ニ送納セシメタリ

而シテ以上義捐者ノ種類ヲ舉クレハ

一、個人ノ名ヲ以テセシモノ
 二、團體ノ名ヲ以テセシモノ
 三、新聞社ニ於テ募集セシモノ
 四、有志者ニ於テ募集セシモノ
 五、外國人ニ於テ募集セシモノ
 六、海外在留本邦人ニ於テ募集セシモノ

等ニシテ其金員ノ最モ多額ナルハ殆ント壹萬圓ニ近キモノアリ最モ少額ナルハ錢厘ノ僅微ナルモノアリ亦以テ貴顯紳士豪商大農ヨリ孀婦寡人ニ至ルマテ舉テ社交的ノ情義ニ因リ分ニ應シ資ヲ投シタルノ一班ヲ推知ス可キナリ

抑モ該義捐金ノ性質タル前陳ノ如クナルヲ以テ其配付ニ就キテハ特ニ慎重ヲ加ヘ獨斷專行或ハ施爲其ノ宜シキヲ得サルアランコトヲ懼レ商議會ナルモノヲ組織シテ其ノ意見ニヨリ之ヲ處分シ被害地各郡長ヲシテ其ノ監督保護ノ責ニ任セシメ被害者ヲシテ生計必要ノ元資ニ充テ不怠ノ事物ニ費スコト莫ラシメ以テ志士仁人ノ厚誼ニ負カサラムコトヲ期セリ乃チ其ノ商議會ノ組織左ノ如シ

海嘯罹災者救助義捐金處分商議會組織

- 一 海嘯罹災者救助義捐金ヲ處分スルニ付商議會ヲ設ク
 - 二 商議會ハ左ノ人員ヲ以テ組織ス
 - 一 宮城縣書記官同警部長同參事官
 - 一 被害三郡長
 - 一 仙臺市長
 - 一 縣會議長
 - 一 縣參事會員
 - 一 義捐金最多額者三名
 - 三 會長ハ知事若クハ代理者之ニ當ル
 - 四 商議會ハ縣廳内ニ開ク
- 右ニ依リ知事ハ左ノ諸氏ニ義捐金商議會員ヲ囑托セリ

書記官 一坂俊太郎
 警部長 川路利行

- 參事官 河村金五郎
- 本吉郡長 八乙女盛次
- 桃生郡長 鈴木太郎作
- 牡鹿郡長 島崎直信
- 縣會議長 藤澤幾之輔
- 縣參事會員 南條文五郎
- 同 松岡馨兒
- 同 齋藤信太郎
- 同 伊藤泰造
- 仙臺市長 遠藤庸治
- 義捐金多額者 金須松三郎
- 同 松倉恂
- 同 遠藤敬止

商議會ハ七月二十二日八月一日九月二十三日ノ三回縣廳會議室ニ於テ開キタリ其

會議ニ於テ定メタル義捐金配付ノ規則ハ左ノ如シ

義捐金配付規定

第一條 義捐金ハ左ノ三種ニ依リ配付スルモノトス

第一種 備荒儲蓄金又ハ國庫救濟金ノ救助ヲ受ケサル被害者ニシテ地租五圓以上ヲ納ムルモノニハ金拾五圓地租五圓未滿ヲ納ムルモノ若クハ地租ヲ納メサルモノニハ金貳拾五圓

第二種 備荒儲蓄金又ハ國庫救濟金ノ救助ヲ受ケタルモノニシテ左ノ各項ニ該當スルモノハ各其所定ノ金額

- 一家屋流失 貳拾圓
- 一同 全潰 拾五圓
- 一同 半潰 五圓
- 一同 破壊 貳圓
- 一死亡 拾圓
- 一重症 五圓

一 輕症

一 農具料拾五圓ヲ受ケタルモノ

貳圓

一同 拾圓ヲ受ケタルモノ

五圓

第三種 義捐金總額ヨリ前二項ノ金額ヲ扣除シタル殘額ヲ備荒儲蓄金又ハ國庫

救濟金ノ救助ヲ受ケタル戸數ニ對シ平等ニ分割シタル金額

第二條 一家中ニシテ前條各項數種ニ當ルモノアルトキハ總テ各別ニ配付ス

第三條 流失、全潰、半潰、破壊ハ住家ニシテ自宅借家ヲ問ハス現住者ニ配付ス

第四條 破壊トハ住家ノ半潰ト認ムヘカラサルモ甚タシク破損シタルモノ又ハ住家ニ浸水シタルモノニシテ其附屬家半潰以上ニ至リシモノヲ云フ

第五條 死亡ハ災害ニ起因シタル負傷疾病ノ爲災後死亡シタルモノヲ云フ

第六條 重症トハ災害ニ起因シタル負傷疾病ニシテ災後三週日以上醫療ヲ受ケタルモノヲ云フ

第七條 輕症トハ災害ニ起因シタル負傷疾病ニシテ災後一週日以上三週日未滿醫療ヲ受ケタルモノヲ云フ

第八條 同居ノ者ト雖モ生計ヲ同フセサルモノハ各一家ト見做シ配付ス

第九條 全家死亡シタルモノハ其跡式ヲ引受ケタル相續人ニ配付ス

第十條 第一條中第一種配付金ハ現金ヲ以テ支給ス

第十一條 第一條中第二種第三種配付金ハ郡長ニ於テ別紙雛形ニ準シ作りタル義捐金配付證書ヲ以テ交付ス

第十二條 配付證書ハ買賣讓與又ハ質入書入ヲ爲スヲ得ス

第十三條 第一條中第二種第三種配付金ハ郡長ニ於テ保管シ農具漁具漁船漁網器械器具等製作ノ資金又ハ營業ノ資金等生産資本ニ用キル確實ノ目的アルモノニ對シ其急要ニ應シ之ヲ支給ス

第十四條 第一條中第二種第三種配付金ハ本人ニアラサレハ交付セス

第十五條 第一條中第二種第三種配付金ノ支給ヲ請ハント欲スルトキハ費途ノ目的ヲ詳記シ區長町村長ノ證明ヲ受ケ郡長ニ請求スヘシ

第十六條 前條配付金ノ證明ヲ求ムルモノアルトキハ區長町村長ハ第十三條ノ事項ニ該當スルヤ否ヤヲ精密調査シ確實ト認メタルモノニハ證明ヲ與フヘシ

第十七條 第十五條ノ請求ニ對シ郡長ハ精密調査シ確實ト認メタルモノハ正當領收證書ヲ徴シ金員ヲ交附スヘシ

第十八條 配付證書ハ金額下渡ノ際ハ之ヲ返付セス但シ内金交付ノトキハ配付證書ノ裏面ニ交付ノ金額月日ヲ記入シ返付スヘシ

第十九條 配付證書ヲ失ヒタルモノアルトキハ區長町村長ノ證明ヲ受ケ再渡ヲ請フヘシ

第何號

海嘯罹災救助義捐金配付書

郡村大字番地

一金何圓

何之誰

右縣廳ヨリ配付相成候條此配付ヲ受ケタルモノハ左ノ各項相心得ヘシ

年月日

郡長印

一此證書ハ賣買讓與又ハ質入書入ト爲ヌヲ得ス

一此配付金ハ郡役所ニ保管シ農具漁具漁船漁網器械器具等製作ノ資金又ハ營業ノ

資金等生産資本ニ用キル確實ノ目的アルモノニ對シ其必要ニ應シ交付スヘシ

一此配付金ハ本人ニアラサレハ交付セサルヘシ

一此配付金ノ交付ヲ請ハント欲スルトキハ其請求書ニ費途ノ目的ヲ詳記シ且ツ此證書ヲ添付シ區長町村長ノ證明ヲ受ケ郡長ニ差出スヘシ

一此證書ハ金額交付ノ際ハ之ヲ返付セス但シ内金交付ノトキハ此證書ノ裏面ニ記入返付ス

入返付ス

一證書ヲ失ヒタルトキハ區長町村長ノ證明ヲ受ケ再渡ヲ請フヘシ

(裏面)

記

一金何圓

配付高

内

(郡長)金何圓 (主任) 何年何月何日下渡

打切後ニ係ル義捐金配付方法

義捐金ノ内準備トシテ引去リシモノ及ヒ今後寄贈ニ係ルモノハ之ヲ合シ其内ヨリ

必要ノ仕拂ヲナシ寄贈終了ノ日ヲ待テ之レカ決算ヲナシ殘金ハ被害ノ各部落ニ割當テ之カ處分ハ各家各人ニ配付スルモ部落共同ノ費用ニ充ツルモ其部落ノ協議ニ任ヌ而シテ部落割當ノ方法ハ左ノ如シ

一半額ハ人口ニ半額ハ戸數ニ割賦ス

決算報告ハ仙臺三新聞及ヒ東京其他ノ寄贈金ヲ取扱ヒタル各新聞ヲ以テ廣告シ其廣告料ヲ仕拂フヘシ

是ノ時ニ方リ恩賜金及ヒ國庫救濟金配付ノ爲メ特ニ調査シタル被害戸別人名及ヒ死亡者負傷者等ノ調査己ニ終了シタルヲ以テ義捐金モ右ノ調査ニ基キ配付スルモノトシ該調査ニ據ル可カラサルモノニ限リ郡長ヲシテ之ヲ調査セシメ十一月十一日以後都合三回ニ配付セリ今其收入計算及ヒ支拂計算書並ニ配付明細表ヲ示ス左ノ如シ

義捐金收入計算書

一金拾七萬八百六拾五圓六拾四錢貳厘

内

收入總額

金參千七百拾七圓九錢參厘	北海道廳
金五萬八千八百八拾八圓八拾錢參厘	東京府
金壹萬參千七百四拾四圓四錢五厘	大阪府
金六千參百拾四圓九拾八錢參厘	京都府
金參千參百九圓參拾六錢參厘	神奈川縣
金四千六百六拾八圓七拾錢八厘	兵庫縣
金百參拾五圓壹錢四厘	長崎縣
金貳千貳拾九圓四拾八錢七厘	新潟縣
金千參百五拾四圓四拾四錢九厘	埼玉縣
金八百貳拾六圓參拾五錢貳厘	群馬縣
金八百四拾八圓五拾錢九厘	千葉縣
金七百六圓四拾錢四厘	茨城縣
金千五百參拾圓七拾九錢六厘	栃木縣
金貳千六百七拾六圓八拾錢六厘	奈良縣

金千四百貳拾七圓八拾參錢貳厘
 金六千六百六拾貳圓五拾壹錢四厘
 金千七百七拾九圓七拾六錢四厘
 金六百五拾九圓八錢
 金千七拾壹圓參錢
 金貳千七百七拾五圓四拾九錢五厘
 金千九拾圓拾錢貳厘
 金千八百九圓參拾壹錢
 金參百拾七圓六拾錢
 金六百拾五圓六拾壹錢貳厘
 金貳千七百五拾貳圓拾四錢八厘
 金八百拾六圓六拾參錢壹厘
 金千貳拾九圓參拾壹錢六厘
 金四百四圓六拾五錢九厘

三三八
 三重縣 愛知縣 靜岡縣 山梨縣 滋賀縣 岐阜縣 長野縣 福島縣 岩手縣 青森縣 山形縣 秋田縣 石川縣 富山縣

金六百八拾四圓拾四錢
 金貳百參拾五圓八拾參錢貳厘
 金百九圓參錢
 金八百貳拾貳圓四拾六錢九厘
 金千八百五拾參圓九拾錢貳厘
 金千貳百六拾七圓參拾五錢九厘
 金八百八拾參圓五錢八厘
 金參百五拾貳圓八拾壹錢六厘
 金參百六拾六圓參拾九錢
 金九百六拾參圓七拾九錢
 金七百六拾參圓壹錢四厘
 金貳千八百八拾貳圓五拾九錢貳厘
 金六百參拾五圓七拾九錢八厘
 金四百貳拾圓貳拾九錢六厘

三三九
 島根縣 鳥取縣 福井縣 岡山縣 廣島縣 山口縣 和歌山縣 德島縣 香川縣 愛媛縣 高知縣 福岡縣 大分縣 佐賀縣

金千貳百八拾四圓七拾八錢四厘
 金貳百五拾壹圓四拾參錢貳厘
 金參百九拾貳圓九拾貳錢貳厘
 金六拾圓
 金百參拾圓
 金六拾七圓六拾五錢六厘
 金貳千參百拾四圓七拾五錢五厘
 金壹萬貳千八百拾八圓九拾九錢六厘
 金千九拾五圓四拾壹錢
 金千貳百七拾七圓五拾錢五厘
 金千四百五拾參圓九拾五錢參厘
 金四百九拾壹圓四拾參錢
 金千貳百四拾四圓六拾八錢
 金貳千四百九拾七圓七拾四錢五厘

熊本縣
 宮崎縣
 鹿兒島縣
 沖繩縣
 臺灣島
 在外本邦人
 及外字新聞
 管內仙臺市
 同刈田郡
 同柴田郡
 同伊具郡
 同亘理郡
 同名取郡
 同宮城郡

金八百九圓拾壹錢貳厘
 金六百貳拾圓八拾參錢八厘
 金千百四圓七拾四錢壹厘
 金貳百六拾參圓四拾六錢五厘
 金七百五圓七拾壹錢
 金千五百九拾九圓拾六錢四厘
 金千參百七拾貳圓參拾八錢六厘
 金貳百四拾五圓六拾七錢
 金千七百七拾九圓參拾七錢五厘
 金參千八拾壹圓貳錢壹厘

同黒川郡
 同加美郡
 同志田郡
 同玉造郡
 同遠田郡
 同粟原郡
 同登米郡
 同桃生郡
 同牡鹿郡
 同本吉郡

備考

在外本邦人及外字新聞並外國人ヨリ直接本廳へ寄送シタルモノハ其名稱ヲ直記
 シ各官廳又ハ新聞社等ヲ經タルモノハ其所在府縣郡市ニ編入セリ

義捐金支拂計算書

一金拾七萬八千六百六拾五圓六拾四錢五厘

支拂總額

二四二

內 金拾六萬七千拾參圓四拾八錢

現金配付高

(委細表出)

金貳千六百參圓參拾四錢八厘

物品購入費

(委細表出)

金八拾圓

郵便稅

金六百五拾五圓

廣告料

金七拾參圓八拾八錢八厘

運搬費

金四拾五圓參拾五錢

人夫賃

金拾八圓六拾錢九厘

送金手数料

金參百七拾五圓九拾六錢七厘

諸印刷費

以上

現金配付計算書

一金貳百八拾圓參拾錢

恩賜金殘額配付高

一金拾六萬七千拾參圓四拾八錢

義捐金配付高

計金拾六萬七千貳百九拾參圓七拾八錢

配付表

郡名	町村名	配付金額	備考
壯鹿郡	女川村	一、九五二、五七〇	
同	大原村	七六八、二三八	
同	鮎川村	一四八、〇七二	
同		一八、五三四	被害學校生徒へ部長ヲシテ配付セシメタル分
計		二、八八六、四一四	
桃生郡	十五濱村	一五、八七七、四六〇	
同	大川村	四一四、四五〇	
同		四六七、二四九	被害學校生徒へ部長ヲシテ配付セシメタル分

二四三

同	計	一六、七五九、一五九
本吉郡	十三濱村	一〇、一九四、九一七
同	戸倉村	五、四七一、五六七
同	志津川町	二〇、五五一、〇四一
同	歌津村	三五、六一三、〇二九
同	小泉村	七、九八六、三七九
同	御嶽村	三三九、七八一
同	大谷村	一一、六二七、七一
同	階上村	一四、六八一、九〇九
同	松岩村	六三二、七七二
同	鹿折村	八九六、七九〇
同	唐桑村	三一、六九七、五三八
同	大島村	三、六八七、六二五

同	計	二、四八四、一四九	被害學校生徒へ郡長ヲシテ 配付セシメタル分
同	集治監及 被害地外	一四五、八六五、二〇七	
同	合 計	一六七、二九三、七八〇	

義捐金ヲ以テ購入物品支拂計算書

- 一 壹萬四千貳百七拾壹點
 - 一 千四百六拾四點
 - 一 拾七萬三千五百六拾四點
 - 一 計拾八萬九千貳百九拾九點
- 此價格金貳千六百參圓參拾四錢八厘

器 食 具
雜 食 品

品 目	桃生郡	鹿本吉郡	計
器具	一六七	三四	一四一

食	品	1	1	1	1
雜	品	7,393	1,733	1,640	1,640
計		9,003	3,055	1,763	1,763

(第五) 寄贈物品

罹災者ハ概テ家産ヲ蕩盡シ僅ニ身ヲ以テ免レタルモノナルカ故ニ着ルニ衣類ナク食フニ器皿ナシ故ニ當時救済ニ急ナルモノハ金銀ニアラスシテ寧ロ物品ニアリナシ其配付ヲ縣廳ニ委托スルモノ甚タ多シ依テ縣廳ハ之ヲ新聞ニ廣告シテ尙ホ必要ナル物品ノ種類ヲ掲ケ之レカ寄贈ヲ促シタルニ仙臺市内ハ勿論東京其他數百里外ヨリ汽車又ハ汽船ニ搭載シ本廳ニ向テ寄贈スルモノ積ンテ山ヲ成シ其數總テ十四萬一千十一點ノ多キニ及ヘリ今其物品ノ種類ヲ舉クハ實マニノ左如シ

自明治二十九年六月二十一日寄贈品調
至同 年十月五日

一被服 七萬一千百八點

- 單衣 裕 襪 褲 綿 入 シヤツ 肩 當 股 引
- 脚 褲 ツボン下 帶 洋 服 手 甲 掛 襪 襪
- 法 被 帷 子 腹 掛 手 袋 帽 子 手 拭 白 木 綿
- 毛 布 蒲 團 絆 纏 蚊 帳 前 掛 解 皮 反 物
- 縫 絲 上 敷 ツンヌキ 足 袋 敷 地
- 一食品 貳千八百貳拾五點
- 澤庵漬 味噌 梅 干 奈良漬 莖 漬 味噌漬 コンテン
- 煙 草 菓 子 棘 蕪 漬 鮭 罐 詰 乾 飯 佃 煮 スミルク
- 一器具 參萬參千百四拾四點
- 皿 茶 椀 椀 庖 丁 箸 柄 杓 杓 子
- 罎 鐵 瓶 鍋 釜 盥 盆 德 利 行 平
- 土 瓶 鐵 瓶 手 桶 水 吞 盆 平 鍋 飯 鉢
- 飯 入 箆 漏 斗 火 箸 貝 敷 膳 摺 鉢
- 五 德 組 湯 釜 急 須 盃 井 重 箱

二四八

椀蓋	挽鉢	洗桶	藥罐	ランプ	火鉢	辨當
茶壺	大平	針	吳坐	枕	煙管	煙草入
雜巾	團扇	下駄	足駄	十能	箒	行李
提灯	笠	鼻緒	風呂敷	布巾	筵	薄緑
扇	油紙	櫛	袴	茶臺	算盤	鍋蓋
カンテラ	鋸	草履	鑿	傘	戸棚	机
一雜品	參萬參千九百參拾四點					
藥	ガ―ゼ	亞麻紙	鹿紙	紙	古綿	ランプ心
裁縫具	石鹼	臭氣止	荷蓮	雜誌	書籍	筆
石筆	硯	石盤	習字草紙	石盤拭	墨	繩
草鞋						

總計拾四萬壹千拾壹點
備考

一被服中縫絲ハ凡テ一把ヲ一點ト算セリ
 一食品ハ凡テ一樽、一罐、一袋、一箱ヲ一點ト算セリ
 一器具中、箸、火箸ハ一膳、重箱ハ一組、針ハ一本、下駄、草履等ハ一足ヲ一點ト算セリ
 一雜品中、藥ハ一袋、亞麻仁油紙ハ一枚、紙ハ一帖、筆、墨、石筆、石盤拭ハ一袋ヲ一點ト算セリ
 以上ノ物品ハ孰レモ一時ノ急ヲ救フニ必用ナルカ故ニ縣廳ニ於テハ縣會議事堂ヲ
 之レカ集配所ニ充テ寄贈ニ從ヒ晝夜ヲ論セス一旦荷解ヲナシ一々其物品ヲ點檢シ
 テ凡ソ配付ス可キ數量個所ヲ定メ本吉郡ハ兩出張所、桃生、牡鹿二郡ハ郡役所ニ充テ
 各被害部落ニ配當セシメタリ此際頗ル便益ヲ得タルハ仙臺消毒所ノ設置是レナリ
 寄贈物品中衣服ノ如キハ汚染シタルモノ尠カラズ或ハ傳染病流行ノ媒介ヲナスモ
 ノアルモ亦計ラレサルヲ以テ是等ノ物品ハ消毒所ニ於テ總テ消毒ノ上之ヲ送附シ
 以テ病毒ノ傳播ヲ防クヲ得タリ其他物品運送ニ付テハ鐵道汽船其他海陸通運ノ諸
 會社ニ於テ孰レモ其運賃ノ割引ヲ爲シ且最モ迅速ニ取扱ヒシカ爲メ毫モ停滯等ノ
 患ナカリシハ被害者ノ爲メ深ク感謝スル所ナリ今左ニ寄贈物品配付明細表ヲ掲ク

配 附 表

品目	桃生郡	牡鹿郡	本吉郡	計
衣類	四八三	一五〇	六八七	七三〇
食品	三四	八	二七三	二九五
器具	六四	三二	三五六	三九二
雜品	一〇六	二八	三二四	三五六
計	六六七	二〇七	一三三九	二四一〇

備考

寄贈品中白木綿ノ如キハ糊帶、帶等ニ作リタルアリ又腐敗セル食品破損セル器物等ハ棄却シタルアリ其受入物品ノ數ト配付高ト相符合セサルハ之カ爲メナリ

(第六) 町村吏員ノ措置

海嘯變災ノ時ニ際シ直接救護ノ責ニ當リタルハ郡役所町村役場吏員ナリトス就中町村吏員ハ身親シク被害地ニ住シ同シク此災害ニ遭遇シ或ハ其家屋財産ヲ亡ヒ或ハ其父母兄弟妻子ヲ失ヒ人間無上ノ悲惨境裏ニ沈淪スルニモ拘ハラヌ死体搜索埋

葬負傷者ノ救療生存者ノ救助等災後數日間晝夜奔走寢食ヲ忘レテ救護事務ニ盡瘁シ自家身上ノ如何ヲ顧ミルニ遑アラサリシハ偏ニ其職責ヲ重ニスルニ出テ其心事洵ニ嘉スヘシ其勞績ノ顯著ナル特筆大書シテ永ク後昆ニ傳フヘキモノ尠カラスト雖モ是等ノ事蹟ヲ網羅シテ遺漏ナキヲ期スルハ到底一朝一夕ニシテ能クスヘキニアラサルヲ以テ總テ之ヲ省略シ左ニ郡役所ニ於テ處理シタル救護事務ノ梗概ヲ摘録シ以テ郡町村吏員カ如何ニ奔走盡力シタルカヲ知ルノ一助ニ供セントス

(一) 本吉郡役所救護處務ノ梗概

(本吉郡長八乙女盛次報告抜萃)

海嘯變災ノ報アルヤ郡吏員ハ直ニ志津川町沿岸沖ノ須賀及ヒ埋地ノ方面ニ出張シ男女悲鳴號泣ノ聲ヲ聞キ之ヲ救助セントスルモ激浪ノ餘流ハ早既ニ町内ニ浸入シ其通路字横町ノ如キハ泥水殆ト肩ニ及ヒ逆浪急激容易ニ進ムコト能ハス仍テ吏員一先ツ郡役所ニ會シ救護ノ方法ヲ講シ傍ラ縣廳ニ急變ヲ打電シ溢水ノ稍ヤ減退スルヲ俟チ再ヒ被害地ニ至リ實見スルニ家屋所在ニ流潰散亂スルモ四面暗黒ニシテ其概數ハ勿論死傷者ノ如キモ其若干ナルヲ知ルコト能ハス實ニ意外ノ事變ナルヲ

以テ重テ本縣ニ急電ヲ發シ一方ニハ郡役所吏員警察署員町村役場員其他一同死傷者ノ探索救護ニ着手セシニ咫尺ヲ辨セサル暗夜ナルノミナラス潮水未タ減セス尙ホ海面ノ狀ヲナシ居レハ各吏員相携ヘテ或ハ水中ヲ涉リ或ハ堆積セル諸材ヲ踏ヘルコトヲ得タリ而シテ是等被害者ノ爲メ一時志津川小學校ヲ避難所ニ充テ之ニ入ラシメ其負傷者ハ直ニ志津川病院內救護所ニ收容シテ之ヲ治療セリ焚出場ハ五日町十日町ニ各二ヶ所ヲ設ケ焚出ヲナシ以テ被害者ニ給與セリ既ニシテ志津川地方救護ノ方法ハ略ホ定マリタルヲ以テ吏員ヲ戸倉村ヘ派遣シ視察セシメタルニ字折立ハ其家屋ノ流失シタルモノ三戸アルノミニシテ人畜ニ死傷ナク且ツ字水戸邊ハ無事ナルヲ知リ得タルヲ以テ引續キ水戸邊以南ノ各字ニ至ラントスルモ水戸邊ハ落橋シ道路ヲ遮斷セラレタルカ爲メ同所ヨリ一應歸郡セリ先是志津川町字清水濱及ヒ細浦ヨリ被害ノ急報ニ接シタルヲ以テ郡役所吏員二名町役場員一名醫師一名ヲ急行派出セシメタルカ同所ハ其慘狀最モ甚シキヲ以テ無害地ナル字大上防ノ區長ニ命シ炊出ヲナサシメ被害者一同ニ給與シ負傷者ヲハ最寄ニ收集シテ派出醫師

及ヒ地方ノ醫師ヲシテ之ヲ治療セシメタリ以上志津川町方面ニ於ケル被害救急ノ狀況ニシテ其他沿海各町村モ亦同一ノ被害ナラント思惟シ直ニ吏員ヲ八方ニ派シ尙ホ急電ヲ以テ其實況ヲ問合セタルモ電信不通ノ爲メ大島唐桑方面ノ被害ヲ知ルニ山ナカリシカ漸次其報告ノ達スルニ從ヒ其被害一層甚シキヲ知ルト同時ニ郡役所定員ノミニテハ到底普ク救護ノ事務ニ執筆スル能ハサルヲ慮リ更ニ六名ノ臨時雇ヲ採用シ被害地各方面ニ向ヒ出張セシメ人夫ノ督勵炊出ノ準備患者ノ手當死体搜索等ノ事ヲ取扱ハシメタリト雖モ如何セン被害ノ區域廣ク被害者ノ數夥シキ爲メ殆ト救急ノ策ニ苦ミタリ仍テ氣仙沼町ニ郡役所出張所ヲ開設シ小泉以北ハ出張所之ヲ管轄シ歌津以南ハ郡役所之ヲ管轄シ内外相應シ以テ救急ノ事ニ盡力セリ但シ死傷ノ數實ニ三千六百有餘ノ多キニ達シ其死体ヲ發掘セントスルモ所在人夫ニ乏シク到底尋常ノ手段ニテハ急速結了ヲ期シ難キヲ以テ無害町村ニハ徵發的人夫ヲ課シ死休ノ發掘負傷者ノ運搬等ニ從事セシメ又々郡吏員ノ一部ハ人馬物品ノ配付輸送其他救護ノ事務ニ服シ他ノ一部ハ被害地ニアリテ負傷者ノ給養又ハ死屍ノ運搬埋葬及ヒ炊出給與等ニ從事セシメタリ此際本縣ノ訓令ニ依リ各郡役所ヨリ應

授トシテ郡書記ヲ派遣セラレタルニ依リ本郡ニ於テハ救護上頗ル便益周到ヲ得タ
リ今本郡書記以下事務分擔及ヒ各郡應援書記ノ官氏名ヲ舉クレハ左ノ如シ
本郡書記以下事務分擔

庶務	本吉郡書記	矢野 惟理
氣仙沼出張所詰	同	石井 山治
馬匹人夫及ヒ焚出米給與事務	同	勝倉 彌惣治
會計事務	同	勝倉 儀太郎
馬匹人夫及ヒ寄贈品事務	同	關口 徳治郎
被害復舊工事事務	同	岡本 久之助
雜務	同	佐藤 信番
文書往復事務	同	眞山 長八郎
雜務	同	小堀 定治
會計事務	同	阿部 源松
文書往復事務	同	遠藤 爽吉

救濟事務

他郡ヨリ應援官吏氏名

本吉郡視學

本多 左右太

宮城郡書記	嶺岸 大力	
柴田郡書記	大庭 善助	
登米郡書記	岩村 茂樹	
同	岩崎 省三	
栗原郡書記	志田郡書記	三井 益治
同	伊具郡書記	森 善太郎
同	刈田郡書記	熊谷 慶三郎
同	登米郡書記	須嶋 豊治
同	栗原郡書記	須藤 龜代治

海嘯變災ノ當時郡長戸澤精一郎ハ不幸大患ニ罹リ事務ヲ執ル能ハサルヲ以テ郡書
記矢野惟理郡長代理トシテ救護百般ノ事務ヲ管理執掌シタルカ七月二十三日ニ至
リ戸澤郡長非職ヲ命セラレ次テ本官登米郡長ヨリ轉任ノ命ヲ受ケ七月二十七日赴

任事務ノ引繼ヲ受ケ直ニ大雄寺ナル臨時病院及ヒ沖ノ須賀等ノ被害地ヲ巡視シ翌月四日歸郡八月五日教育補助費ノ件ニ付郡會及郡參事會ヲ招集シ翌六日善後事務ニ關スル一般ノ方針ヲ訓示シ八月七日ヨリ北部被害地ヲ巡視シ或ハ町村吏員ニ善後ノ方策ヲ授ケ或ハ喪心セル被害者ヲ慰撫シテ就業ヲ慫慂スル等爾來毎月二次乃至三次被害地ヲ巡視セリ今本郡ニ於テ處理シタル救急事務ノ梗概ヲ擧クレハ左ノ如シ

一、焚出米ノ事

海嘯襲來ノ當夜志津川町ニ於テハ字十日町五日町ニ數ヶ所ノ焚出場ヲ設ケ絶ヘス焚出ヲ爲シ避難所ニ送付シテ罹災民ニ給與セリ之カ焚出ヲ爲スニ當リテハ船陸ノ場台料米買入等ヲナスノ寸暇ナキヲ以テ徵發的命令ヲ發シ或ハ資産家ヨリ或ハ焚出場ナル家主ヨリ米穀ヲ出サシメ最モ迅速ニ之ヲ處辨セリ翌日ニ至リテハ四方ニ散在シタル被害者悉ク避難所ニ群集シ其人員俄ニ増加シタルヲ以テ更ニ焚出場ヲ増設シ普ク之ヲ給與セリ又同町字清水荒戸ノ如キハ特ニ郡吏員ヲ派遣シ大抵同様

ノ方法ヲ以テ焚出米ヲ給與セリ其他郡役所ニ近接セル十三濱戸倉歌津小泉ノ各村ニ對シテハ時々料米ヲ輸送セント雖モ其他ノ部落ニ於テハ便宜村長ニ訓令シテ救急上臨機ノ處置ヲナシ一時之レカ救助ヲ取計ラハシメタリ然ルニ志津川ニ於テハ忽チ料米ニ欠乏ヲ告ケタルヲ以テ商賈ニ嚴命シ登米地方ヨリ多額ノ米穀ヲ輸入買收セシメント雖モ何分被害ノ區域廣濶ニシテ被害者ノ數夥多ナルヲ以テ到底保支スル能ハス依テ本縣出張官ト協議ノ上備荒倉ヲ開キ儲蓄米ヲ悉皆精米トナシ僅ニ供給ニ應スルヲ得タリ本郡内ニ於テ焚出ヲ爲シタル總人員ハ二十萬八千五百八十八人米石數八百四十六石二斗四合其石代金及ヒ味噌薪炭雜費ヲ合スルトキハ其金額壹萬千五百九拾貳圓七拾參錢參厘ナリ

二、人足使役ノ事

海嘯被害者救護上ニ關シ最モ困難ヲ感シタルハ人夫ノ供給ニシテ死体ノ發掘負傷者ノ送致物品ノ運輸等ニ至ルマテ一トシテ人夫ヲ要セサルモノナシ然ルニ部内十七町村ノ内其害ヲ被ラサリシモノハ僅ニ麻崎、横山、入谷、氣仙沼、新月ノ五町村ニシテ其他ハ被害町村中ニ於ケル數部落ニ過キス當初救急ノ場合ニハ該地方へ人夫ヲ課

シ其出役ヲ督勵セント雖モ時恰モ農桑繁劇ニ際セシヲ以テ之レカ募集ニ應スルモ
 ノ僅少ニシテ到底廣潤ナル被害地一般ノ供給ヲ充タスコト能ハサルヲ以テ止ムヲ
 得ス其供給ヲ他郡ニ仰クコト、ナシ登米栗原兩郡ニ依頼シ到着次第順次其部署ヲ
 定メ監督者ニ附シ被害地ニ派遣セシメ郡内人夫ト共ニ死体ノ發掘死屍ノ運搬及ヒ
 埋葬等ノ役務ニ服セシメタリ又タ地方無害者ヨリハ隨時荷馬車及ヒ馬匹ヲ徵發シ
 食料及ヒ器具寄贈品等ノ運搬ヲ爲シ傍ラ雇船ヲ置キ物品輸送ノ便利敏活ヲ計レリ
 其人夫及ヒ馬匹等ノ數ヲ擧クレハ左ノ如シ

一人足延人員

三萬七千五百五十九人

郡外人夫

一萬二千四百九人

郡内人夫

二萬五千百五十人

一馬 匹 七十頭

一荷馬車 二 臺

一雇船 五 艘

三、恩賜金交付ノ事

恩賜金ハ南北二部ニ分チ北部ハ八月十一日氣仙沼尋常高等小學校内ニ於テ南部ハ
 八月十三日志津川尋常高等小學校内ニ於テ之ヲ交付セリ其次第八町村長町村會議
 員區長及ヒ被害者惣代ヲ校内ニ召集シ縣官警察官郡參事會員立會ノ上各部落ノ被
 害者總代ヲ呼出シ郡長之ヲ交付セリ又拜受シタル惣代者ハ各部落ニ於テ被害者ヲ
 召集シ縣官郡吏員警察官立會ノ上町村長之ヲ各自ニ交付セリ交付ニ際シテハ都テ
 警護ヲ嚴ニシ最モ森嚴ニ舉行セリ之ヲ第一回トス爾後拜受スヘキ被害戶數人口中
 各町村トモ多少脱洩ニ係ルモノアルヲ發見シ縣廳ヨリ第二回第三回ニ交付セラレ
 タルモノハ最初ノ手續ヲ以テ之ヲ交付セリ被害者一般 天恩ノ辱キヲ感泣セサル
 ハナシ

四、義捐金配付ノ事

海嘯罹災救助義捐金配付ニ關シテハ先ツ各區出張員及ヒ被害町村長ヲ召集シ各被
 害者ニ對シ江湖ノ志士仁人カ寄贈シタル義捐金ノ性質及ヒ其費途ノ目的等ヲ示シ
 本縣諭告ノ趣旨ヲ服膺貫徹セシメ苟モ濫費スルカ如キコトナカランコトヲ諭示ス

ヘキ旨ヲ訓示セリ尋テ義捐金交付手續義捐金保管規程等ヲ定メ被害者ニシテ義捐金ヲ請求セントスルモノハ其請求書ニ費途ノ目的ヲ明記シ區長及ヒ町村長ノ證明ヲ得テ請求セシムルモノトセリ又町村配付義捐金ニ對シテハ本縣訓第七一號ノ證明旨ニ基キ交付規程ヲ定メ第一回義捐金ハ明治二十九年十一月二十八、二十九ノ兩日ヲ以テ吏員ヲ各町村役場ニ派シ町村長區長總代人立會各被害者ニ交付シ第二回義捐金遺漏追加ノ分ハ三十年三月二十五日ヲ以テ第三回義捐金被害地外住居ノ被害者ニ對スル分及ヒ町村配付義捐金ハ三十年八月十日ヲ以テ第一回ノ手續ニ依リ之ヲ交付シタリ

五、寄贈金品ノ事

海嘯ノ報各地ニ傳播スルヤ四方ノ志士仁人ハ被害者救恤ノ爲メ金員物品ヲ寄贈スルモノ日ニ續々トシテ絶ユルコトナク隨テ分配スレハ隨テ集合シ郡役所ハ殆ント寄贈ノ衣類食物器具ヲ以テ充タサレタリ而シテ所員ハ其數ヲ檢査シテ之ヲ分配スルモノ、荷造ヲ爲シテ之ヲ發送スルモノ當時ノ繁忙實ニ名狀スヘカラス其物品分配ノ方法ニ至リテハ被害ノ程度ト物品ノ種類トヲ參酌シ人馬車又ハ雇船ヲシテ之ヲ

被害地へ運搬セシメ以テ其配付ノ迅速周到ナランコトヲ務メタリ又郡役所限リ收入ノ義捐金壹千五百七拾六圓參拾九錢七厘ハ一應本縣へ送納セシニ義捐金分配商議會ノ決定ニ依リ更ニ十一月ヲ以テ適宜被害者へ交付スヘキ旨ヲ以テ本縣收入ノ分ト共ニ下渡サレタリ依テ郡役所ニ於テハ義捐金配付心得ナルモノヲ設ケ十一月二十八日二十九日ノ兩日ヲ以テ事故アルモノヲ除ク外悉ク之ヲ交付セリ其交付ノ方法ハ郡吏員被害町村役場ニ出張シ町村長區長總代及縣郡出張員立會ノ上被害者一同ヲ召集シ證書ヲ以テ之ヲ交付シ尙ホ郡役所ニハ臨時現金保管規程ナルモノヲ設ケ以テ其取締ヲ嚴ニセリ今寄贈品交付高ヲ擧クレハ左ノ如シ

總 高

内

九千參百貳拾七點

被 服 類

七千參百六拾貳點

食 物 類

貳萬五千五百六拾六點

器 物 類

六被害戶口調査ノ事

備荒儲蓄金及國庫救濟金ヲ給與スヘキ被害者戸口調査ハ本縣訓令ニ基キ七月二十日ヨリ着手シ同月二十三日ヲ以テ終了シタリ本調査ハ被害者救濟ノ急策トシテ重大ノ關係ヲ有スルヲ以テ調査ノ時日最モ短期ナルニモ拘ハラズ慎重ニ慎重ヲ加ヘ精密ニ之レカ調査ヲ爲セリ而シテ右調査ノ終了スルヤ之ヲ縣廳ニ報告進達シタルニ直チニ救濟金及ヒ備荒儲蓄金ノ配付アリタルヲ以テ郡吏員ヲ各町村ニ派シ縣屬町村長區長總代人立會ノ上郡吏自ラ被害者ニ之ヲ交付シタリ然ルニ多數ノ被害者中費途ノ目的未タ確立セサルモノアリテハ之ヲ濫費スルノ虞レアルト一ハ利殖ノ道ヲ計リ或ルヘク勸誘シテ之ヲ銀行ニ預ケ入レシメタリ

七、海嘯ニ關スル事項調査ノ事

海嘯被害後郡吏ヲ各町村ニ分派シ被害ニ關スル事項ヲ調査セシメタリ其調査ノ要項ハ死亡負傷家屋流潰船舶流破斃馬漁具ノ流破其他ノ事項ニシテ之レカ調査ヲナスニ方リテハ事案ヨリ重大ナルヲ以テ及フ限リ慎重ヲ旨トシ再調ノ患ナキヲ期シタリシト雖モ當時被害者ノ大半ハ精神錯亂シ萬事舉措ヲ失スルノ場合ナリシヲ以テ其申告スル處或ハ誤謬ニ出ツルモノ尠カラズ隨テ訂正スレハ隨テ無効ニ歸スル

モノ枚舉ニ遑アララス然レトモ本件調査ハ最モ急要ニ屬スルヲ以テ晝夜ヲ問ハヌ之カ調査ニ從事シタリ其事項ノ重ナルモノヲ舉クレハ左ノ如シ

漁船流潰千百餘艘

漁網流失千三百餘

土地被害

田反別百九拾町七段九畝拾參步

畑反別百參拾參町六段五畝七步

桑園反別九町貳段參畝貳拾貳步

宅地反別六拾九町八段參畝四步

鹽田反別參町貳段六畝五步

合反別四百六町七段七畝貳拾壹步

生産物ノ損害見積高

米貳千貳百拾七石

麥貳千百九拾壹石

大豆千九拾參石

雜穀八百拾八石

野菜五千七百參拾四畝

此代金參萬七千五百拾壹圓

水産捕獲物八萬五千貳百五拾五圓

同製造物貳萬五千五百六圓

海藻五千四百參拾八圓

食鹽貳千貳拾九圓

計金拾壹萬八千參百貳拾八圓

養蠶

繭七百五拾參石

生糸百四拾七貫

青綿屑物百四拾參貫

桑葉八萬六千貳百八拾五貫

計金參萬千六百拾壹圓

合計金拾八萬七千九拾圓

(二) 桃生郡役所救急處務ノ梗概

(桃生郡長鈴木太郎作報告抜萃)

六月十六日午前三時十五濱村海嘯ノ報ニ接スルヤ即時郡書記西川貞中川新三郎ヲ派遣シ焚出米給與ノ任ニ當ラシメ翌朝本官自ラ出張シ避難所ノ設置負傷者ノ手當救助出願ノ手續及ヒ人命救助等ノ取調ヲ監督シ又焚出米ノ供給義捐金ノ募集金品ノ運送等内部ノ事務ハ専ラ郡書記鬼怒川盛鈴木庄三郎ノ兩名ヲシテ之ヲ處理セシメタリ

一 焚出米ノ事

十五濱村ハ地形上田畑極メテ少ナク爲メニ居民ハ概テ漁業ヲ營ミ米穀ノ如キハ常ニ需用ヲ牡鹿郡石巻ニ仰クノ狀況ナルヲ以テ海嘯ニ際シ三十日間焚出ニ要スル白米九十八石餘ノ内五十四石餘ハ被害地ニ於テ買取セシモ四十四石ハ郡内飯野川村ヨリ買取シ被害地ノ隣村ナル大川村字釜谷へ舟送シ夫レヨリ一里ニ餘ル雄勝峠ノ

峻坂ヲ踰ヘ凡ソ四里餘ヲ陸送セシヲ以テ頗ル不便ヲ感シタリキ焚出場ハ維勝區ニ五ヶ所船越區ニ一ヶ所ヲ設ケ多キハ一ヶ所一日百六十餘人少キハ百餘人ニ給與シタルヲ以テ一時頗ル混雜ヲ極メタリ焚出人夫ノ使役ハ極メテ迅速ヲ行トシ操飯其他ノ食品ヲ吳産又ハ戸板等ニ駢列シ各自ノ望ニ應シテ之ヲ給與シ日數十日ヲ經過シタルニ人心稍々平穩ニ歸シ各自家財其他ノ以片付ニ從事セル爲メ便宜上五戸若クハ十戸集合同炊ヲ希望スルヲ以テ焚出場ヲ鎮シ郡書記二名村役場員數名ヲシテ成規ノ白米其他食品ヲ授與セシメタリ本郡ニ於テ焚出ヲナシタル總人員ハ二萬四千五百九十二人白米九十八石三斗六升八合ニテ其菜代及ヒ味噌薪炭炊夫賃等雜費合計金壹千參百七拾七圓九拾貳錢ナリ

二、負傷者救療ノ事

負傷者ノ手當ハ海嘯ノ報告ニ接スルト同時ニ郡醫星松伴ヲ派遣シ地方醫砂金右貞高屋源治佐々木廉亮ノ三名ト共ニ治療ニ從事セシメタリ其後赤十字社救護員ノ出張アリシヲ以テ大ニ便宜ヲ得タリ而シテ星砂金兩人ノ取扱ヒタルモノハ各四十一名ニシテ星ハ同月二十八日マテ十三日間ニ延人員四百八十五人ヲ砂金ハ同月二十

日マテ五日間ニ延人員三百十一名ヲ高屋ノ取扱ハ三十七名ニシテ同月二十日マテ五日間ニ延人員百六十一人ヲ佐々木ノ取扱ハ三十六名ニシテ同月二十二日マテ七日間ニ二百四十六名ヲ治療シタリ但患者數ニ對シ延人員ノ少ナキハ治療中死亡シ又ハ短日數ニシテ治療セシモノアルニヨルナリ

三、人夫ノ事

六月十九日ヨリ二十五日ニ至ル日數七日間ハ清潔法施行ノ爲メ人夫三百八十四人ヲ大川村ヨリ募集シ死体收拾行衛不明者ノ搜索道路掃除漂流諸村取片付等ニ使用シタリ然ルニ死体ノ運搬汚穢物ノ取捨等ハ尤モ嫌惡スヘキ業務ナルヲ以テ引續キ勞働スルモノナク或ハ一日或ハ二日ヲ以テ逃歸リ監督上頗ル困難ヲ極メタリ右ニ要スル賃銀ハ一人一日金參拾錢ニシテ計金百拾五圓貳拾錢ナリ

(第七) 海嘯罹災地善後事務處辨方法

- 一 海嘯被害ニ罹ル善後ノ事務ヲ處辨セシメムカ爲メ被害地ヲ分畫シテ四區トシ每區一名ノ出張員ヲ置ク事桃生郡ハ被害地ヲ分畫シ以下十七字ヲ除ク)
- 二 出張員ハ郡書記ヲ以テ之ニ充ル事

三出張員ハ郡長ノ指揮ヲ受ケ常ニ区内ヲ巡視シ左ノ事務ヲ處辦スル事

- 一 食料小屋掛料農具料衣服家具料救助金ノ給與其他窮民救助ニ關スル事
- 二 家屋死体取片付家宅掃除飲料水検査其他衛生清潔法ニ關スル事
- 三 流潰家屋ノ建築及ヒ建築地選定ニ關スル事
- 四 義捐金穀物件支拂分配等ニ關スル事
- 五 船舶漁網漁具農具等ノ新調修補ニ關スル事
- 六 農商工漁者ノ就業ニ關スル事
- 七 小學兒童就學等ニ關スル事
- 八 道路堤防橋梁等ノ修築ニ關スル事
- 九 右ノ外善後ノ處分ニ關スル一切ノ事務ヲ監視スル事
- 一 罹災者ニ代リ善後ノ計畫施設ニ付出張員ノ協議ニ應ジシムル爲メ各被害地部落ニ總代人三名以下ヲ置ク事
- 一 總代人ハ每被害部落ヲシテ總代人一人ニ付候補者各三名宛ヲ推選セシメ郡長其中ニ就キ適任者ト認ムルモノニ承任狀ヲ附與スル事

一前各項ノ外施行上必要ト認ムル事項

右訓令ニ依リ本吉桃生兩郡長ハ知事ノ認可ヲ得テ善後處分法及ヒ出張員配置區域ヲ定メ總代人ヲ選舉セシメ郡書記ヲ派出シ其計畫全ク定マルヲ以テ知事ハ更ニ屬官五名ニ出張員ヲ命ジ郡長ニ於テ定メタル各區ニ各一名出張シ郡長ノ指揮ヲ受ケ郡書記ト共ニ其区内ニ係ル善後事務ヲ處理セシメタリ其官氏名及ヒ出張ニ際シ演達シタル訓令ヲ舉クルコト左ノ如シ

出張員

- 本吉郡第一區 屬 千葉 胤繼
- 同 第二區 屬 佐藤 令史
- 同 第三區 屬 安藤 房太郎
- 同 第四區

屬 後藤 祐吉

桃生郡第五區

屬 武澤愛次郎

訓令

今般各員ニ出張ヲ命シタルハ海嘯罹災者ニ對シ諸般ノ善後事務ヲ處辨セシメンカ爲メナリ願フニ遠回ノ海嘯タル其區域數十里ノ廣キニ亘リ其民家數千戸ノ多キニ及ヒ死亡者ノ埋葬生存者ノ救助負傷者ノ治療等焦眉ノ急ニ處スルノ事務枚舉ニ遑アラサリシモ災後己ニ二ヶ月ヲ闋シ是等救急ノ事務ハ略ホ其緒ニ就キタリト雖モ家屋ノ修築衣食ノ供給病災ノ豫防ヲ始メ耕田漁魚其他百般ノ業務ニ從事シ將來獨立自營ノ途ヲ立ル等各人各個ニ於テ今後計畫施設ヲ要スルモノ亦極メテ多シ今罹災者ノ爲メ是等ノ事務ヲ處理スルハ頗ル干渉ニ過クルノ嫌ヒナキニアラサルモ抑モ非常災後ノ事務ヲ處辨スルニ方リテハ亦須ク非常ノ手段方法ヲ用キサル可カラス況ヤ災民カ資テ以テ善後事業ノ財源ト爲スモノハ 兩陛下ノ恩賜金政府ノ救済金備荒儲蓄ノ救與金志士仁人ノ義捐金ニシテ而シテ是等金員ノ給與分配ノ如何ニ

至リテハ一々本官ノ責任ニ歸ス今ヤ恩賜金救済金救與金等ハ已ニ之ヲ交付シ義捐金モ亦將ニ不日之ヲ分配セントス是ノ時ニ當リ萬一多數罹災者中前途有用ノ資ニ投セスシテ徒ニ酒食又ハ不急ノ事物ニ浪費スルカ如キモノアリテハ深ク遺憾トスル所ナリ本官ハ何ヲ以テ上 陛下及ヒ政府ニ答ヘ下志士仁人ニ見ヘンヤ是本官ノ特ニ各員ヲシテ善後事務處辨ノ任ニ當ラシムル所以ナリ若シ夫レ事務處辨ノ方法ハ郡長ニ於テ特ニ本官ノ許可ヲ得テ定メタル規程アリ各員ハ宜ク別紙心得ニ依リ其規程ヲ遵行シ出張ノ郡書記ト共ニ區内町村長及ヒ區長罹災者總代人ニ協議シ災後ノ計畫施設ニ就キ誠實懇切ヲ旨トシ其事務ヲ處辨センコトヲ望ム此旨特ニ訓令ス

年 月 日

知 事

海嘯罹災地出張員心得

- 第一條 海嘯罹災地ヲ分畫シテ本吉郡ヲ四區桃生郡ヲ一區トシ每區ニ出張員ヲ置ク
- 第二條 出張員ハ郡長ニ於テ知事ノ許可ヲ得テ定メタル規定ニ依リ其區出張ノ郡書記ト共ニ其區内ニ係ル海嘯善後事務ヲ處辨スルモノトス
- 第三條 出張員ハ特ニ知事ノ命令アルモノヲ除クノ外海嘯善後事務ニ關シテハ郡

長ノ指揮ニ從フヘシ

第四條 出張員ハ毎月五日限リ其前月間處辨シタル事務ノ顛末狀況ヲ知事ニ報告スヘシ

斯クテ明治三十年三月二十八日ニ至リ各罹災地ニ於ケル善後ノ事務ハ大半之レカ處分ヲ了シ罹災民モ亦漸ク其堵ニ安スルヲ得タルヲ以テ爾後處分ヲ要スル事務ハ郡出張員ニ於テ處理セシメ本廳ヨリハ時々官吏ヲ派遣シ巡視監督セシムルコト、シ縣廳派遣ノ出張員ハ盡ク之ヲ引揚ケタリ其處辨シタル事務ノ顛末ハ郡長報告ノ部ニ詳載シタルヲ以テ茲ニ之ヲ省略ス

清潔法ノ施行

海嘯災害ノ最モ激烈ナリシ村落ニ在リテハ家宅人畜ヲ舉ツテ蕩然一掃シ去リ復タ一物ヲモ留メサルニ依リ却テ清潔法施行ノ必要ナキモ破壊又ハ浸水シタル家宅ノ多數ヲ占ムル村落ニアリテハ獸畜ノ死屍河海ノ泥土其他ノ汚穢物所在ニ充滿シ其臭氣鼻ヲ撲チ不潔名狀スヘカラス抑モ災後ノ窮民ハ破屋ニ住シ弊衣ヲ纏ヒ其食物亦粗惡ニシテ榮養充分ナラス此時ニ方リ惡疾一タヒ發生シ滿村ノ汚穢物之レカ傳

播ノ媒介ヲ爲ストキハ災後ノ村落ハ再ヒ修羅ノ巷トナリ幸ニ萬死ニ一生ヲ得タル災民モ惡疫ノ爲メ其天幸ヲ全フスルコト能ハス死亡相踵キ沿海數十里間ハ終ニ人類ヲ絶ツノ慘狀ヲ呈スルニ至ルハ瞭然トシテ火ヲ視ルヨリモ明ナリトス是ニ於テ知事ハ清潔法施行ノ必要ヲ認メ縣參事會ヘ諮問ノ上其費用ハ衛生費ヨリ支出スルモノトシ其施行方法ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ本法施行ニ要スル人足ハ總テ罹災民ヲ以テ之ニ充ツルモノト爲シタルハ災後活路ニ彷徨スルモノヲシテ勞役ニ服シ其賃銀ヲ得テ以テ自活ノ途ヲ講スルノ一助トナサシメントスルニ由ル

被害地清潔法施行手續

- 一 被害地清潔法ハ警察官吏ニ於テ施行スヘシ
- 一 清潔法ハ左ニ掲クル各項ニ限リ施行スルモノトス
 - 一 但シ消毒藥ハ生石灰ヲ用フヘシ
 - 一 井戸則圖ノ浚渫掃除及ヒ消毒
 - 一 溝渠下水ノ浚渫掃除
 - 一 塵芥汚穢物等ノ燒却

四 浸水家屋床下ノ泥土汚穢物ノ取除及ヒ消毒

- 一人夫ハ警察官吏ノ請求ニ依リ町村長ニ於テ供給スヘシ但シ日々使用スル人夫ノ員數ハ豫メ警察官吏ニ於テ之ヲ定メ町村長ニ通知スヘシ
- 一人夫ハ被害部落ノモノニ限リ使用ス可シ但シ十二歳以上十五歳未満ハ男女ニ拘ハラヌ必要ニ應シ使役スルモノトス
- 一人夫ノ賃金左ノ區別ニ從ヒ支給ス
 - 一 男子ハ一日一人金參拾五錢但シ十二歳以上十五歳未満ノモノハ金拾五錢
 - 二 女子ハ一日一人金貳拾錢但シ十二歳以上十五歳未満ノモノハ金八錢
- 一人夫賃金ハ町村長ニ於テ各部落毎ニ其人員金額ヲ取調警察官吏ノ證明書ヲ添ヘ郡長ニ送付ス可シ但シ郡長ニ於テ本項ノ支拂ヲ爲シタルトキハ本人又ハ人夫受負人ノ正當領收證書ヲ徴スヘシ
- 次テ知事ハ清潔法施行ニ要スル衛生費豫算ヲ定メテ被害三郡ニ配付セリ其達左ノ如シ

其郡海嘯罹災地清潔法施行ノ爲メ衛生費豫算左ノ通り配付ス

年 月 日

知 事

(本吉郡)

一金參千參拾四圓五拾四錢貳厘

衛 生 費

内

金貳千六百七拾貳圓六拾七錢

人 足 賃

金參百六拾壹圓八拾七錢貳厘

石 灰 代

(桃生郡)

一金百九拾七圓貳拾錢貳厘

衛 生 費

内

金百七拾參圓

人 足 賃

金貳拾四圓貳拾錢貳厘

石 灰 代

(牡鹿郡)

一金百拾壹圓拾四錢九厘

衛 生 費

内

金九拾七圓五拾六錢五厘

人足賃

金拾參圓五拾八錢四厘

石灰代

而シテ施行法手續第一項ニ依リ本吉郡ハ氣仙沼警察署長志津川分署長桃生郡ハ飯野川警察署長牡鹿郡ハ石巻警察署長ヲシテ之ヲ施行セシメタリ即チ氣仙沼警察署部内ハ同年八月十三日開始同月二十四日結了志津川分署部内ハ八月一日開始同月十日結了飯野川警察署部内ハ八月一日開始同月七日結了石巻警察署部内ハ八月一日開始同月七日結了セリ其使役セシ人夫一萬八千九百九十一人内男一萬二千三百三十七人女五千八百五十四人十二歳以上十五歳未満男千七百九十六人女九百七十七人ナリ但シ人足賃石灰代等ノ詳細ハ救濟ノ資財ノ部縣費ノ項ニ詳ナリ

郡役所善後事務處辨ノ梗概

海嘯罹災地善後ノ事務ハ以上記述スルカ如ク清潔法施行ニ關スルモノ、外ハ縣廳ニ於テ大体ニ關スル計畫ヲ定メテ其施設ノ方針ヲ授ケ其細目ニ涉ルモノハ總テ郡長ヲシテ便宜之ヲ處理セシメ之カ實施ノ責ニ任セシメタリ今郡長ノ報告ニ基キ事務處辨ノ顛末ヲ左ニ摘録ス

(本吉郡)

海嘯善後事務處辨方法ノ事 海嘯善後事務處辨規程及ヒ被害部落總代人ニ關スル規程ハ縣知事ノ訓令ニ基キ之ヲ定メ知事ノ許可ヲ得八月十五日町村ニ訓令シ之ヲ實施セリ其規程左ノ如シ

海嘯罹災地善後事務處辨規程

第一條 海嘯被害地ニ係ル善後事務ヲ處辨スルタメ被害地ヲ左ノ四區ニ分畫シ每區ニ一名ノ出張員ヲ置ク

第一區 十三濱村 戸倉村

第二區 志津川町 歌津村 小泉村

第三區 大谷村 階上村 御嶽村 松岩村

第四區 唐桑村 大島村 鹿折村

第二條 出張員ハ郡書記ヲ以テ之ニ充ツ

第三條 出張員ハ郡長ノ指揮ヲ受ケ常ニ區内ヲ巡視シ左ノ事務ヲ處理スルモノトス

一 小屋掛農具料衣服家具料救助金ノ給與其他窮民救助ニ關スル事

- 二 家屋死体取片付家宅掃除飲料水検査其他衛生清潔法ニ注意スル事
 - 三 家屋ノ建築及ヒ建築地選定ニ關スル事
 - 四 義捐金穀物件配與及ヒ保管等ニ關スル事
 - 五 船舶漁網漁具農具家屋材料職工等ノ需用ニ關シ便宜ヲ與フル事
 - 六 農漁商工就業ニ關スル事
 - 七 小學兒童就學等ニ關スル事
 - 八 道路橋梁堤防等ノ修築ニ關スル事
 - 九 老幼ノ保護孤兒ノ育成ニ關スル事
 - 十 其他善後ノ處分ニ關スル一切ノ事務ヲ監視スル事
- 被害部落総代人ニ關スル規程
- 一 罹災者ニ代リ善後ノ計畫施設ニ付出張員ノ協議ニ應セシムル爲メ各被害部落ニ左ノ總代人ヲ置ク可シ

第一區
十三濱村

月濱長鹽谷	二	人
大室小室	二	人
小泊	一	人
相川	二	人
大指小指	二	人
戸倉村		
濱折立、水戸邊	二	人
波傳谷、津ノ宮、瀧濱	二	人
藤濱、長清水寺濱	三	人
第二區		
志津川町		
志津川	二	人
平磯	二	人
荒戸	二	人

清水

細浦

歌津村

葦ノ濱、寄木濱

伊里前

管ノ濱、館濱

馬場濱

中山濱

名足濱

石濱

泊濱

田ノ浦

湊濱

小泉村

二人

二人

二人

二人

二人

二人

二人

二人

一人

二人

二人

二人

藏内濱、歌生濱

廿一濱、今朝濱

小泉驛、芝

第三區

御嶽村

大澤、登米澤

大谷村

平磯

大谷

階上村

明戸、杉ノ下

長磯、最知、岩月

松岩村

片濱、尾崎

三人

二人

一人

二人

三人

三人

三人

三人

三人

二人

二人

二人

第四區

鹿折村	二
鶴ヶ浦	二
唐桑村	三
崎濱中井中	三
小結	二
鮪立	二
舞根	一
宿	二
石濱	二
只越	二
館	一
大澤	二
大島村	二

外濱外畑 二人

長崎横沼回館 三人

駒形要害 二人

一 總代人ハ每部落ヲシテ總代人一人ニ付候補者三人ヲ推撰セシメ郡長其内ニ就
 キ適任者ト認ムルモノニ承認狀ヲ付與ス
 以上規程ニ依リ八月十四日郡書記四名ニ各區出張員ヲ命シ其受持區ニ出張セシメ
 タリ次テ本縣ヨリ縣屬四名各區ニ派遣セシメラレタルニ依リ出張ノ郡書記ト共ニ
 其事務ヲ處辨セシメタリ其出張員受持區ハ左ノ如シ

第一區	縣屬	千葉胤繼
	郡書記	諏訪部勝治
第二區	縣屬	佐藤令史
	郡書記	石井山治
	縣屬	安藤房太郎
	郡書記	嶺岸大力
第三區	縣屬	
	郡書記	

第四區

縣 屬 後藤 祐吉
郡 書 記 勝倉 彌惣治

右ノ内第二區出張員郡書記石井山治ハ十月福島縣へ出向ニ付郡書記關口徳次郎之ニ代リ第三區縣出張員縣屬安藤房太郎ハ十月他へ轉任ニ付縣屬前田元之ニ代レリ而シテ縣出張員ハ明治三十年三月二十八日限り引揚ケタルヲ以テ爾後ハ郡出張員ノミニテ繼續事務ヲ處辨セリ但シ同時ニ第三區出張員郡書記嶺岸大力ハ郡役所ニ引揚ケ第二區出張員郡書記關口徳次郎ヲシテ之レニ代ラシメ第二區出張員ニハ郡書記善積精一郎ヲ以テ之ニ充テタリ

而シテ八月十五日郡役所内ニ海嘯善後事務係ヲ置キ郡書記六名ヲシテ専ラ該事務ヲ管掌セシメ又町村長ニ訓令シテ町村役場内へ海嘯善後事務主任書記ヲ置カシメ郡役所及ヒ出張員ト町村役場トノ氣脈ヲ通シ其事務ノ敏活ヲ圖ラシメタリ

海嘯被害者ニ對スル復業諸般ノ計畫ニ就テハ考慮ヲ要スルモノ少ナカラサルニ依リ毎月出張員及ヒ町村長ヲ會同シ事細大トナク其意見ヲ諮ヒ以テ善後ノ方策及ヒ施設ノ方法ヲ定メタリ其諮問ノ上決定シタル事項中主要ノ條件ヲ左ニ摘載ス

- 一 集合諸材分配ノ件
- 一 孤兒處分ノ件
- 一 現役兵ニ該當スルモノ、内自活シ能ハサルモノ、免役出願ニ關スル件
- 一 善後策ニ付町村へ委員ヲ設ケル件
- 一 備荒儲蓄救助期限經過後ホ自活ノ途ナキ貧窮者調査ニ關シ標準ヲ定ムル件
- 一 陸前東濱街道改修工事費寄附ノ見込ナキヲ以テ縣稅ヲ以テ改修出願ノ件
- 一 貯蓄銀行ニ出張ヲ乞ヒ救濟金等交付ノ際預金ヲ爲サシムル件
- 一 死体未發見ノ死亡者戶籍除籍ノ件
- 一 被害者ノ精神ヲ回復振起セシムルコトヲ力メ自治心ヲ惹起シ速ニ常業ニ就カシムル様懇諭スヘキ件
- 一 漁船漁具ヲ整備スル様誘導スヘキ件
- 一 沖漁船ハ殘餘アル部落ヨリ一時借入漁業ヲ獎勵スルノ件
- 一 漁網ヲ新調スルノ資力ナキモノハ資本家ヲシテ調製セシメ漁業者ノ便利ヲ計ラシムル件

- 一家屋ノ建築ハ費用多キヲ要スルヲ以テ一時間似合ノモノトシ之ニ要スル費用ヲ轉シテ漁農商工業ノ資本ニ充用セシムルノ件
- 一家屋ノ建築ハ高地ヲ擇ヒ製造所納屋等ノ如キ一時ノ使用ニ供スルモノハ沿海便宜ノ地ニ設ケシムルノ件
- 一家屋ノ建築地ハ先ツ道路下水溝ヲ開鑿シ之ニ並列セシムル様計畫ヲ爲サシムル件
- 一家屋材船材橋梁材等未タ官林拂下ヲ請願セサル向又ハ本數不足請願セシ向ハ至急出願スヘキ件
- 一戸主死亡シ跡相續人ナキモノハ速ニ之ヲ立テシムル件
- 一戸主未丁年者ハ速ニ相當ノ後見人ヲ立テシムル件
- 一後夫後妻ヲ要スルモノハ速ニ之ヲ迎ヘシムル様注意ノ件
- 一戸主死亡財産讓與ノ手續ヲ爲サ、ルモノハ速ニ處理スヘキ件
- 一死亡者除籍ノ手續ヲ爲サシムル件
- 一消毒清潔方法施行ノ件
- 一田畑ノ潮入地面回復ノ件

- 一町村ニ海嘯善後事務擔任書記ヲ定メ置ク件
- 一出張吏員ノ事務所ハ町村役場内ニ設クル件
- 一焚出及寄贈金品受拂整理ノ件
- 一義捐金濫費ヲ防クニ關スル件
- 一部落移轉地々均ハ共同事業ト爲サシムル件
- 一同移轉地ニ要スル井戸ハ共同用トシテ其構造ヲ完全ナラシムル件
- 一同移轉地ニシテ里道變更ヲ要スルモノハ出願ヲ爲サシムル件
- 一縣道ニ添ヒ家屋ヲ建築スルモノ、注意ヲ促ス件
- 一假小屋住居者ニシテ積雪前建築ノ運ヒニ至ラサルモノ、危險ナキ様注意ノ件
- 一官林拂下樹木ノ伐採ハ共同事業トナシ種目材積等臺帳ヘ記入セシムル件
- 一官林拂下ノ木材ハ降雪前伐採方ニ注意ノ件
- 一船材料トシテ若宮山官林ヲ出願スヘキ件
- 一海嘯善後工事ニ關スル縣土木工事ハ町村又ハ町村人民請負トナサシムル件
- 一蠶種蠶具要意ノ件

- 一 被害田地ヲ回復シ插秧ヲ爲サシムル件
- 一 人夫賃銀及人夫賄ニ關スル受拂整理ノ件
- 一 官林拂下木ノ搬出期限ヲ愆ラサラシムル件
- 一 官林拂下木ハ許可ヲ得サレハ使用目的ヲ變更シ又ハ交換賣買等ヲナシ得サルコトヲ注意ノ件
- 一 職工募集ニ斡旋スヘキ件
- 一 被害學校ノ建築修繕ヲ督勵スヘキ件
- 一 町村教育補助費ハ費目外ニ支出セサルニ注意ノ件
- 一 被害ノ當時人命ヲ救助セシモノ又ハ德行アリシモノ、賞與申請ノ件
- 一 清潔法出役人夫賃銀受拂整理ノ件
- 一 被害者移轉宅地ノ分裂登記及土地賣買讓與等ニ關スル件
- 一 恩賜金救濟金及義捐金支出ノ正否ヲ調査スル件
- 一 官林拂下代金及移轉地均費用町村ニ於テ受ケタル義捐金品受拂整理ノ件
- 一 被害地ニシテ現地目ニ復舊ノ見込ナキモノハ納税ノ猶豫ヲ乞ハンメ尙ホ追テ免

租ヲ出願セシムル件

官林拂下ノ事 被害民ヲシテ其本業ニ復シ自活ノ途ヲ得セシムルハ家屋ノ建築ト船舶ノ造修ヲ促スヨリ先ナルハナシ依テ之レカ速成ヲ督勵セントセシモ本郡ハ元來民林ニ乏シキ地方ナルヲ以テ恰當ノ用材ヲ得ル能ハス因テ官林拂下ノ必要ヲ認メ直ニ吏員ヲ御嶽小林區署ヘ派遣シ拂下ヲ得ヘキ山林ノ調査ヲ爲サシメ被害各町村長ト協議ノ上被害者ニ代リ之レカ拂下ヲ出願セシメ郡役所ニ於テハ尙其許可ノ一日モ速カナランコトヲ欲シ屢々其間ニ立チテ交渉斡旋シタル結果漸ク拂下ヲ得ルニ至リシヲ以テ各自被害ノ大小ニ準シ分配法ヲ定メシメ且ツ職工ノ少ナキ地方ハ便宜ノ方法ヲ以テ之ヲ募集シ差向キ小屋掛ノ材料ニ供シタリ然レトモ該拂下官林タルヤ僅ニ一小部分ニ過キス之レカ爲メ自然家屋ノ建築ヲ遷延スルモノアルニ至レリ殊ニ船舶ノ如キハ被害一小部落ノ造船用ニモ尙且ツ十分ナラサルヲ以テ造船ノ數極メテ少ナク漁民一網千金ノ好漁場ヲ有シナカラム出漁スルコト能ハス適々破船ヲ修造シ沿岸ノ漁撈ニ從事スルモノアルモ固ヨリ一時ノ用ニ供スルニ過キス遠海ノ漁業ニ至リテハ到底其用ニ堪ヘス漁族ノ群集セルヲ袖手傍觀スル有様ナ

ルヲ以テ更ニ船材ノ拂下ヲ請ハント欲シ數回町村長ト謀リ或ハ小林區署ニ或ハ大林區署ニ或ハ縣廳ニ協議ヲ遂ケ又或時ハ四方ノ官林ヲ實査セシムル等晝夜斡旋シ船材用トシテ本部戸倉村字若宮山外敷ケ銘ノ拂下ヲ出願セシメタリ然ルニ宮城大林區署ニ於テハ其後廳議一變シ拂下代價不相當ナリトシテ之レカ訂正ヲ命セラレタルニモ拘ハラヌ爾後廳議更ニ再變シテ若宮山ハ全部拂下ヲ許可セラレサルコトトナリタリ依テ重子テ交渉ノ結果止ムヲ得ス同村門前山官林及ヒ若宮山ニ於テハ松木ヲ以テ之ニ代フルコト、ナセリ左ニ各町村ニ於テ拂下ヲ受ケタル官林ヲ掲ク

家屋材ノ分

町村名	木種	本數	尺
十三濱村	杉	一、八二五	一、九九六、八五
戸倉村	松杉	五七五 四二	一、九〇二、二七 五〇、六一
志津川町	杉	一、三三一	三、七六六、七四
歌津村	松杉	一、〇〇〇 〇〇〇	七六〇、一六 一、三三〇、九三

町村名	木種	本數	尺
小泉村	杉	一、九三四	六五〇、一一
御嶽村	杉	六八	四〇、二八
大谷村	松杉	八四四 二一〇	六二八、六五 三二六、八〇
階上村	松杉	二、〇五四 二四	一七二、〇〇 八四八、六四
松岩村	杉	二〇〇	四四、一四
鹿折村	杉	四、〇三八	一九四、七四
唐桑村	松杉	四二七 四三〇	二、八五四、二二 三三五、六三
大島村	杉	一、五〇六 三、七三三	三五一、七六 一三、二三五、九〇
計	松杉	一、二七五、〇八	一、二七五、〇八
十三濱村	杉	一、二七	三三五、四五
志津川町	杉	一、三九	二二〇、八一
大谷村	杉		二九一

ルヲ以テ更ニ船材ノ拂下ヲ請ハント欲シ數回町村長ト謀リ或ハ小林區署ニ或ハ大林區署ニ或ハ縣廳ニ協議ヲ遂ケ又或時ハ四方ノ官林ヲ實査セシムル等晝夜幹旋シ船材用トシテ本部戸倉村字若宮山外數ヶ銘ノ拂下ヲ出願セシメタリ然ルニ宮城大林區署ニ於テハ其後應議一變シ拂下代價不相當ナリトシテ之レカ訂正ヲ命セラレタルニモ拘ハラヌ爾後應議更ニ再變シテ若宮山ハ全部拂下ヲ許可セラレサルコトトナリタリ依テ重子テ交渉ノ結果止ムヲ得ヌ同村門前山官林及ヒ若宮山ニ於テハ松木ヲ以テ之ニ代フルコト、ナセリ左ニ各町村ニ於テ拂下ヲ受ケタル官林ヲ掲ク

家屋材ノ分

町村名	木種	本數	尺
十三濱村	杉	一、八二五	一、九九六、八五
戸倉村	松杉	五七五 四二	一、九〇二、二七 五〇、六一
志津川町	杉	一、三三一	三、七六六、七四
歌津村	松杉	一、〇〇〇 〇〇〇	七六〇、一六 一、三三〇、九三

船材ノ分

小泉村	杉	一、九三四	六五〇、一一
御嶽村	杉	六八	四〇、一八
大谷村	松杉	八四四 二一〇	六二八、六五 三二六、八〇
階上村	松杉	二、〇五四 二三四	一七二、〇〇 八四八、六四
松岩村	杉	二四	四四、一四
鹿折村	杉	二〇〇	一九四、七四
唐桑村	松杉	四、〇三八 四二七	二、八五四、二二 三八五、六三
大島村	杉	四三〇	三五一、七六
計	松杉	一、二、五〇六 三、七三二	一、三、二三五、九〇 二、九四二、六一
十三濱村	杉	八四八	一、二七五、〇八
志津川町	杉	一一七	三三五、四五
大谷村	杉	一三九	二二〇、八一

計	松岩村	杉
	四二	二三八、六八
計	一、一四九	二、〇六〇、〇二

二九二

宅地選定及ヒ家屋建築ノ事 被害民宅地選定ニ就テハ高處移住ノ策ヲ立テシメ即チ今回海嘯餘波ノ及ハサリシ地ヲ撰ヒ之ニ建築センコトヲ勸誘シタリ然ルニ多數被害者ノ内ニハ往々漁業ノ不便ヲ唱ヒ或ハ敷地賣買交換等ノ手數ヲ厭ヒ動モスレハ不快ノ感情ヲ抱キ依然被害地ニ居住セントシ移轉ヲ肯セサル傾向アルヲ以テ是等ハ出張員ニ於テ交換賣買ノコトハ勿論他ニ轉セントスルモ實際恰當ノ地所ヲ得サルモノニ對シテハ高潮ノ及ハサルヲ度トシ土盛ヲ爲サシムル等ノ計畫ヲ定メ懇篤諭示ノ上將來衣食住ノ安全ヲ計リ以テ家屋ノ建築ヲ督勵セリ而シテ被害部落中共同移轉ヲ促シタルハ戸倉村ノ内波傳谷志津川町ノ内沖ノ須賀埋地大谷村ノ内大谷階上村ノ内明戸唐桑村ノ内只越及ヒ大澤ノ大部落トス被害後明治三十年八月ノ調査ニ係ル新築家屋數ヲ擧クレハ左ノ如シ

區名 町村 名 被害總戶數 居家建築濟 同修繕濟 同建築未濟 備考

計	第一區		第二區					第三區				第四區		
	戸倉村	十三濱村	志津川町	歌津村	小泉村	御嶽村	大谷村	階上村	松岩村	鹿折村	唐桑村	大島村		
一二二	四五	八六	一九三	三〇六	六〇	二	八八	一一一	八	一〇	二三八	二二三		
一一七〇	三一	五七	一一一	二二七	四二	二	六四	七六	三	九	一五五	二一		
七九八	五	一七	二二	一七	二	一	一	五	一	一	一四	一		
七六	九	一一	六〇	七二	一六	一	二二	三三	一	一	六九	二		
二九六											内一戸氣中 沼町へ轉住	内一戸階上 村へ轉住		

二九三

本表ニ依リ之ヲ見ルトキハ被害後一年餘ヲ經流潰戸數ニ對シ殆ト七分強ニ達シタリ而シテ今日ニ至リテハ各被害地トモ大抵舊觀ニ復シ被害前ヨリモ一増堅牢ナル建築ヲ見ルニ至レリ

船舶修造ノ事 漁船ハ漁民生命ノ繫ル處ニシテ其必要缺クヘカラサルハ固ヨリ言ヲ俟タス故ニ家屋ノ建築ト共ニ急中ノ急務トシテ其修造ヲ督勵シ其生産力ヲ挽回センコトヲ務メタリ然ルニ曾テ出願セシ官林ハ容易ニ拂下ノ許可ヲ得ス荏苒遷延シ漁民ハ益々困難ノ狀ヲ呈スルヲ以テ一面ニ於テハ被害者財政ノ許ス限リ他ヨリ恰當ノ材料ヲ購入シ新造セシメタルカ官林拂下ノ許可アルニ及ヒ當局者ハ嚴重ニ督勵ヲ加ヘ船舶ヲ修造セシメタルヲ以テ數月ナラスシテ舊日ノ船數ヲ見ルニ至リタリ

漁網新調ノ事 被害部落中ニハ幸ニ流潰ヲ免カレタル船舶又ハ新規ニ造船セシモノアリト雖モ漁網漁具ハ住家及ヒ納屋等ノ流潰ニ依リ概テ流失或ハ毀損セシ爲メ船舶ヲ使用シテ漁業ニ従事スルコト能ハス殆ト窮迫ニ陥リシ有様ナルヲ以テ義捐金又ハ救濟金ノ幾分ヲ支出セシメ之レカ新調ヲナサシメ漁撈ニ着手セシメタリ但

シ漁網ハ現今漸ク各地ニ行ハル、綿糸ヲ用ヒシメント欲シ百方其効用ノ便利ナルヲ説クト雖モ容易ニ舊慣ヲ改メス依然麻糸ヲ用キルノ傾向アルヲ以テ被害者中重立テタル漁業者ヲ勸誘シ之ヲ使用セシメタル結果今日ニ至リテハ綿糸網ヲ用キルモノ稍々多キニ至レリ

海嘯被害部落轉地工事ノ事 移轉地工事ハ本吉郡戸倉村宇波傳谷外六箇所ニシテ海嘯ノ害ニ罹リシ者各戸悉ク高燥ナル適當ノ場所ヲ選定シ部落ヲ舉ツテ移轉スルノ計畫ヲ定メ被害者ハ各自土地ヲ買入レ地均シヲ了シ家屋ヲ建設セントスルニ當リ道路新開ノ必要ヲ生シタリ然レトモ災餘町村ノ負擔ニ堪ヘサルヲ以テ工費ノ全部縣稅ノ特別補助ヲ仰キ三十年四月一日ヨリ該工事ニ着手シ戸倉階上ノ移轉地ノ如キハ六月下旬全ク竣功ヲ告ケタリ今其補助金額及ヒ町村部落別表ヲ左ニ掲ク

町	村	名	移轉地	字名	移轉	戸數	工費	金額
戸	倉	村	波	傳	谷	?		三七二、四九六
志	津	川	町	沖	須	賀	?	四五〇、〇〇〇

大谷村	大谷	七二一、五六三
階上村	波路	二、一九三、一一六
唐桑村	只越及大澤	一、二六一、三五二
計		四、九九八、五二一

海嘯被害復舊工事ノ事 復舊土木工事ハ六月十五日ノ海嘯及ヒ八月二十八日激浪等ノ爲メ本吉郡沿岸各町村ノ堤防道路橋梁樋管等非常ナル破壊ヲ來シタルモ町村ニ於テハ未曾有ノ災害ニ遭遇シ以テ設計ヲ始メ工事ニ關スル一切ノ件ヲ處理スル能ハサルヲ以テ縣廳ニ請フテ技手ノ派遣ヲ得先ツ被害各町村長及ヒ土木擔當者ヲ郡衙ニ召集シ工法ノ程度ヲ協議セシメ而シテ後被害地ヲ南北二部ニ分チ吏員ヲ出張セシメ實地踏査ヲ遂ケ以テ復舊工事ノ設計ヲ完結シタリ然ルニ其費用ノ多額ナル被害町村長ハ到底町村ノ負擔ニ堪ヘサルヲ以テ町村會ノ議決ヲ經テ特別補助ヲ縣廳へ稟請シ工費全部ヲ補助セラレタリ其工費金額町村別左ノ如シ

町	村	名	道路橋梁費	治水堤防費	樋管費	計
---	---	---	-------	-------	-----	---

十三濱村	三七〇、〇三二			三七〇、〇三二
戸倉村	三七〇、九六七		一九、三九九	四九〇、三〇六
志津川町	六五、七二二	二七、二七一		二、八八四、二
歌津村	四九、六九五	七九四、四九		一、二八五、八三四
小泉村	三、八〇六	三六、一四四		三九、九四〇
大谷村	三、五二〇	三〇、九三八		三四、一四八
階上村	一、三、一九三		一、四九、七〇九	一、六二、九〇一
松岩村		五、四四、〇四四		五、四四、〇四四
鹿折村	一一、八五六	三、八、七七一		三、四〇、六三三
氣仙沼町		五、九八、六八四		五、九八、六八四
唐桑村	三、四四、一八三	一、〇八七、〇八八		一、四三、二七二
大島村	六、八、二七	二、七、六五二		二、〇六、四七九
合計	二、〇六、〇七九	六、八、三、一七二	一、六、九、〇四八	一〇、四九三、〇一八

而シテ同年五月ヨリ該工事ニ着手シ漸次完全ニ竣功セリ
 小學校ニ關スル事 海嘯ノ災害ハ本吉郡内十二ヶ町村ニ及ヒ被害小學校十七校内
 校舎ノ流失潰倒セルモノ三校教員ノ死亡セルモノ三名生徒ノ死亡セルモノ三百七
 十八名同負傷セルモノ五十三名ニシテ其他被害ノ生徒數ハ實ニ九百餘名ノ多キニ
 達シ其慘狀見ルニ忍ヒサルモノアリ是ニ於テ吏員ヲ急派シ其被害兒童ハ一般被害
 民ト共ニ救助セシメ校舎ノ流潰又ハ破壊セルモノハ一時寺院ヲ以テ仮教室トナシ
 災後五日乃至十日以内ニ於テ一般仮授業ヲ開始セシメ一方ニハ授業用具ヲ給與シ
 以テ普通教育ヲシテ休止セシメサラソトヲ期シタリ然レトモ是只一時姑息ノ手
 段ニシテ素ヨリ永續善後ノ策ニアラス依テ更ニ精密査覈ノ上被害小學校ノ編制ヲ
 縮少シ其經費豫算標準ヲ定メ町村長及ヒ小學校長ヲ召集シテ其方法ヲ指示シ一
 ニハ流潰校舎再築ノ設計梗概及ヒ被害町村各種歳入ノ減損額ヲ調査シ校舎再築費
 ト減損額トノ多寡ニ應シ教員俸給ノ幾部及ヒ修築費ハ縣稅ノ補助ヲ仰キ以テ善後
 復舊ノ事ヲ計畫施行セリ而シテ一町村ノ資力到底小學校維持ニ堪ヘ難キモノハ引
 續キ三十年度ニ於テモ縣稅ノ補助ヲ仰キ又三十一年度ニ於テモ繼續補助ヲ請ヘリ

左ニ縮少學級數ノ概計及小學生徒被害明細表ヲ示ス
 縮少學級ノ梗概

- 一 縮少シタル學級數
- 一 廢止シタル分教場
- 一 校舎再築補助費
- 一 同修繕補助費
- 一 教員俸給補助費

十六學級
 六ヶ所
 六百拾六圓
 百圓
 貳千九百四拾八圓貳拾錢

本吉郡小學生徒海嘯被害明細表

學 校 名	在 籍 生		死 亡		存 在	
	男	女	男	女	男	女
相川小學校	七	二	三	八	四	一
大指分教場	八	三	一	一	一	一
戸倉小學校	二五	九	一	一	一	一
藤濱分教場	四	三	三	一	一	二

志津川小學校	四九	二六	六七	一五	四	一九	五	一	五
清水分教場	二四	一八	四二	二二	七	一八	一	一	一
荒戸分教場	二〇	三五	五五	三	三	五	一	一	一
伊里前小學校	一五	四二	三三	九	三	二	四	一	五
名足小學校	二八	四七	一六	四〇	一九	五九	一	一	六
湊分教場	二八	一三	四二	三	四	七	一	一	一
小泉小學校	一五	五五	二二	八	二	二〇	二	一	二
今朝磯分教場	三五	一〇	三五	一四	一	一五	三	一	四
大谷小學校	二八	六五	二四六	一九	二	三〇	三	一	三
階上小學校	二七〇	一五	四六	二六	一九	四五	三	一	三
小原木小學校	一四六	四二	一八七	三	二	四四	四	五	九
唐桑小學校	三七	一六	五〇	四	三	六	四	二	六
大島小學校	二八	二七	三九	六	六	三	一	一	一

三〇〇

計	二、五七	一、三三七	三、九八	二、五七	三三	三六	四二	三	五
---	------	-------	------	------	----	----	----	---	---

又々被害生徒中書籍石盤等受業具ヲ流亡セルモノ甚タ多ク其數書籍ニ於テハ五百餘點石盤等ニ於テハ四百餘點ニ及ヘリ是等授業上一日モ缺クヘカラサルモノナルモ幸ニ當時本縣教育會中央部ニ於テ被害生徒救護義金募集ノ舉アリ本吉郡氣仙沼小學校外九校職員ハ之カ募集ニ應シ義金ヲ投スルモノ八拾九圓九拾五錢八厘ニ達セリ依テ該金ヲ以テ生徒受業具即チ書籍石盤筆墨紙等ヲ購入供給シ授業上差支ナカラシメタリ

稲苗寄贈ノ事 海嘯ノ襲來スルヤ沿岸一帶ノ田地ハ大抵砂入又ハ潮入ノ害ヲ被ラサルナク其甚シキハ稲苗全ク埋沒又ハ流亡シテ其形ヲ存セサルモノアリ然ラサルモ枯凋シテ赤色ヲ呈シ其生力ヲ挽回シ得ヘカラサルモノ比々皆是ナリ仍テ無害各町村ヨリ稲苗ノ寄贈ヲ促シタリト雖モ當時ハ概テ插秧ノ終リタル場合ナリシノミナラス元來田地ノ少ナキ地方ナルヲ以テ剩餘ノ稲苗ハ如何ニ之ヲ蒐集スルモ到底被害者ノ供給ヲ充タス能ハス仍テ本縣ニ請願シ近郡登米桃生兩郡ヨリ其寄贈ヲ得

三〇一

以テ挿秧セシメタルモノ頗ル多ク其秋穫ニ至リテモ敢テ平年ト異ナラサル結果ヲ見タリ

蠶種寄贈ノ事 海嘯被害者中ニハ養蠶家モ亦數多アルヲ以テ家屋ノ建築ヲ督勵スルト同時ニ養蠶ノ飼育ヲ促カシ災後生計ノ一助タラシメント欲シ蠶種ノ寄贈募集方ヲ宮城蠶糸業組合取締所へ依頼セシニ四方ノ慈惠家ハ奮テ之ヲ惠贈シ來リ資テ以テ蠶兒ヲ飼育スルコトヲ得タリ其惠贈枚數ヲ舉クルコト左ノ如シ

春蠶種框製

四十枚

春蠶種普通製

百十六枚

秋蠶種普通製

三枚

計百五十九枚

備考寄贈者ハ登米栗原桃生刈田壯鹿伊具亙理等ノ各郡及ヒ山形縣ナリトス

第四章 雜 篇

(第一) 行賞ノ事

一明治三十年三月二十六日內務大臣ヨリ左ノ如キ訓令アリタリ

客年三陸地方海嘯ノ節罹災者救恤ノ目的ヲ以テ特ニ被害地域ヲ指定セシメテ金穀財産等ヲ義捐シタルモノニハ宮城巖手青森三縣知事連署ヲ以テ賞與取計フヘシ右ニ要スル賞與費ノ請求支出等ハ之ヲ取扱ヒタル縣ニ於テ處辨スヘキモノトス

右訓令ス

明治三十年三月二十六日

內務大臣伯爵 樺 山 資 紀

右ト同時ニ內務書記官ヨリ左ノ如キ通牒アリタリ

本日訓第二八九號ヲ以テ客年三陸地方海嘯ノ節罹災者救恤ノ爲メ金穀財産等ヲ義捐シタル者賞與方ノ義ニ付訓令相成候處右ハ新聞社又ハ會社協會團體等ニ托シ一般人民ヨリ金穀財産等ヲ義捐シタルモノ、行賞方ニシテ各縣各別ニ行賞セ

ス各其出金出品價格ニ對シ宮城巖手青森三縣知事連署ヲ以テ賞與施行相成可然
將又之ニ要スル行賞費ノ請求支出等ハ協議ノ上之ヲ取扱ヒタル縣ニ於テ處辨可
相成儀ニ有之候命ニ依リ此段及通牒候也

大臣官房文書課長

明治三十年三月二十六日

內務書記官 千頭清臣

是ニ於テカ三縣知事ハ交渉協議ノ上二十七ヶ條ノ行賞規約ヲ議決セリ其大要ヲ披
録スレハ左ノ如シ

一、三陸海嘯ノ際被害者救助ノ爲メ三縣ニ對シ金員物品ヲ義捐シタル者ニ賞與ヲナ
スニハ左ノ通り區分擔當スルモノトス

○宮城縣

石川縣	岡山縣	廣島縣	山口縣
德島縣	香川縣	熊本縣	高知縣
福岡縣	在外內國人	宮崎縣	鹿兒島縣

受賞者總人員十分ノ三

神奈川縣	外國人	大坂府	愛媛縣
佐賀縣	沖繩縣	臺灣	

○巖手縣

受賞者總人員十分ノ五

日報社	群馬縣	千葉縣	茨城縣
栃木縣	三重縣	奈良縣	愛知縣
静岡縣	山梨縣	滋賀縣	岐阜縣
長野縣	福島縣	京都府	山形縣
秋田縣	福井縣	富山縣	鳥取縣
島根縣	大分縣		

○青森縣

受賞者總人員十分ノ二

東京府	北海道廳	新潟縣	兵庫縣
長崎縣	埼玉縣	和歌山縣	

前項ノ如ク定ムト雖モ三縣各其管内ニ於テ二縣若クハ三縣連帶ニテ義捐シタル者
 又ハ既ニ他ノ二縣ニ於テ各單獨行賞濟ニ係ル者ノ如キハ各其縣ニ於テ行賞スルコ
 トニ爲セリ
 本縣擔當ニ係ル内外人ノ褒賞豫定總取ハ左ノ如シ

種	別				計
	三縣連帶	二縣連帶	本縣	指定	
褒詞	五四七、二五	三五	一四、四八		六九二、八〇九
褒狀	二八、二〇六	八七	一〇、五六六		三八、八七九
賞狀	二、八八	二七	六七八		二、九九三
合計	五七、七五〇	二三五	一五、六九二		七五、七三四

右ニ對スル褒賞費ノ豫算ハ明治三十一年度ニ於テ交付スラレ其一部ハ之ヲ三十二
 年度ニ繰越シ支出ヲ完了セリ其額左ノ如シ

海嘯災害救恤者褒賞諸費

預算	額		計	殘額
	三十一年度	三十二年		
預	三、〇八二、三三	一、〇四八、三九七	三、〇八〇、三七二	〇、七五八
算	二、五九六、四〇一	一、〇四八、三九七	三、〇八〇、三七二	

同費支出明細表

節	目	三十一年度支出	三十二年	計
雇員	給	三九、〇〇三	六二、八四四	一〇一、八四七
賞與	與	—	一、四五、〇〇〇	一、四五、〇〇〇
旅費	費	三三、一六〇	五四八、二九〇	八八一、四五〇
木杯	杯	一、六、三三〇	六、四七〇	一、六八〇、九七〇
褒賞狀	用紙	六、三、〇〇〇	—	六、三、〇〇〇
褒詞	用紙	八、〇、四八三	二、五、〇〇〇	一、〇五、四八三
名簿	用紙	一、二、八、五五〇	五、四、六〇〇	一、八、三、一五〇
領票	用紙	一、一、七、三三〇	—	一、一、七、三三〇

其他用紙	一四二、五〇	二五八、三〇〇	一六七、九六〇
朱肉	九六、〇〇〇	—	九八、六〇〇
通信費	二、二七八、〇〇	六八、〇〇〇	二、七九七、八六〇
運搬費	一〇一、四〇〇	—	一〇一、四〇〇
印刷費	二、二三四、〇〇	七五、〇八六	九七、七三一
合計	三、五九六、四〇一	一〇四、八三九、七	三、七〇〇、七七一

而シテ其海嘯災害救恤者ニ對シ明治三十一年以降同三十四年四月迄ニ賞與ヲ執行シ及其筋ニ稟申シタル人員ノ地方別賞與種別ハ左ノ如シ但褒賞豫定數ニ比シ著ク減少セシハ學校生徒又ハ救護團體ノ如キ數百人ノ出金者ニシテ其人別金額ヲ調査シ難キ分ハ其團體又ハ共同者ヲ合シテ行賞シタルニ由ル

海嘯災害救恤者賞與人員地方別表ノ一

(宮城縣ニ於テ執行ノ分)

受賞者地方別	賞與種別	三縣連帶	本縣縣連帶	本縣縣連帶	本縣指定	計
--------	------	------	-------	-------	------	---

宮城縣	神奈川縣	石川縣	大縣
賞狀	賞狀	賞狀	賞狀
二五	一六二	四四	二、四四
褒詞	褒詞	褒詞	褒詞
三六六	二〇五七	八八五	一〇、一〇〇
計	計	計	計
一、七六二	一、七五七	一、九六五	一、一五四
本縣縣連帶	本縣縣連帶	本縣縣連帶	本縣縣連帶
二八四	二〇六三	二、二二四	一、一〇九
本縣指定	本縣指定	本縣指定	本縣指定
二八七	四七	—	—
計	計	計	計
八、三〇九	二、一七七	二、六六八	一、一六二
九〇、七七一	二、一九三	二、九九九	二、一三九

知 高			縣 島 德			縣 川 香			縣				
褒詞	褒狀	賞狀	計	褒詞	褒狀	賞狀	計	褒詞	褒狀	賞狀	計	褒詞	褒狀
二六八六五	五〇六	二〇	七、七〇〇	七、四七五	二六九	一六	五、八三六	五、〇〇九	五九	三六	一七、七〇七	一六、五七四	
一	一		二〇八	一九七	〇	一	一四五	一三六	八	一	四一	三五	
							一七	一〇	七		一		
二六、八六六	五〇七	二〇	七、九六八	七、六七二	二七九	一七	五、九九八	五、三五九	六〇四	三九	一七、七四九	一六、六〇九	

口 山		縣 嶋 廣			縣 山 岡			府 坂				
褒狀	賞狀	計	褒詞	褒狀	賞狀	計	褒詞	褒狀	計	褒詞	褒狀	
一、〇八六	四七	三、四、五九	三、〇四六	一、四一三	六〇	二〇、九六三	二〇、三三二	五九二	二六	四、二三三	三、二七六	八、八八二
									一六	一六	一	
六		一四六	一三二	三三	三	一四	一四		二九	一四	二	
		二	二	二		二			三三	一四	五	
一、〇九〇	四七	三、四、六七	三、一七六	一、四二一	六	二〇、一七五	二〇、四五六	五九二	二六	四、二四六	三、二八〇	八、九〇九

形山			縣田秋			縣手巖			人			
褒詞	褒狀	賞狀	計	褒詞	褒狀	賞狀	計	褒詞	褒狀	賞狀	計	褒詞
二			四	四			七	六	一		七	五
			二	一	一		元	八	一			
九	六		二	二	七	三						
三	四		五	元	元		三	二	六	一		
三	九		〇	二	八		二	九	〇	八	一	五

國外		人邦本外			灣			縣細				
褒狀	賞狀	計	褒詞	褒狀	賞狀	計	褒詞	褒狀	賞狀	計	褒詞	褒狀
二	四	三	一	一	二	三	一	八		一	三	七
		二	二	二		五	五	四		一		
二	四	三	一	一	二	七	五			一	三	七

靜 賞 狀	縣 梨 山			縣 馬 群			縣 葉 千		
	計	褒 詞	褒 狀	計	褒 詞	褒 狀	計	褒 詞	褒 狀
	一	一	一	三	三		三	二	一
	二	四	三	二	二	四	三	四	一
	一	二	一	二	五	六	八	四	四
	三	八	五	三	三	一	三	七	五

三二七

縣 計	縣 城 炎			縣 木 柄			縣 島 福			縣 計
	計	褒 詞	褒 狀	計	褒 詞	褒 狀	計	褒 詞	褒 狀	
	三	三		一			一	一	七	二
	八	六		五	五	三	二	二	六	一
	三	六	四	二	九	一	二	三	一	二
	一	五	四	五	五	四	五	四	七	九

三二六

重 三			縣 知 愛			縣 阜 岐			縣			
褒 詞	褒 狀	賞 狀	計	褒 詞	褒 狀	賞 狀	計	褒 詞	褒 狀	賞 狀	計	褒 詞
五	九	二	一四	二	三	一	四	一	三	一	四	四
一五	一	一	一六	一六	一	一	二	二	一	一	三	一
七	三	二	一〇	一	七	二	一〇	一三	九	二	三	一
三	三	一	二九	一九	一四	一〇	一九	一八	一三	一	二四	二
二九	二四	五	二九	二五	二五	二	三六	三二	三五	二	六七	五

賀 滋		縣 山 富			縣 野 長			縣 岡				
褒 狀	賞 狀	計	褒 詞	褒 狀	賞 狀	計	褒 詞	褒 狀	賞 狀	計	褒 詞	褒 狀
五	三	七八	六	二	一	七	六	一	一	一六	一六	一
三	一	一三	一	二	一	三	三	一	一	二六	二六	六
一〇	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一八	一六	一〇
三	一	一	一	一	一	一七	一六	三	一	三六	三三	一
九	一	一〇	一〇	三〇	一	五	五	三	一	三五	三三	一八

縣 井 福			府 都 京			縣 良 奈			縣
計	褒 詞	褒 狀	計	褒 詞	褒 狀	計	褒 詞	褒 狀	計
三九三	三六	六四	九三	四九	三六	二六四	二〇三	六〇	一六
—	—	—	—	—	—	—	—	—	一五
八	三	五	五七	四一	三七	九	二	—	八七
二六	一七	九	五	—	三	二	四九	二	五
四二七	三四六	七九	一四九	九〇	四三	三五	二四	七	三二

三三〇

青 縣 分 大				縣 根 島			縣 取 島				
計	褒 詞	褒 狀	賞 狀	計	褒 詞	褒 狀	賞 狀	計	褒 詞	褒 狀	賞 狀
—	五〇七	四七五	三	—	三九	五	—	八	四	四	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	二	—	二	—	三	—	—	二	—	二	—
—	三	—	—	—	二	二	—	二	—	二	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	三〇一	二六七	—	—	—	—	—	—	—	—	—

三三一

庫兵			縣山歌和			縣瀉新			府				
褒詞	褒狀	賞狀	計	褒詞	褒狀	賞狀	計	褒詞	褒狀	賞狀	計	褒詞	褒狀
四八四	九八	六	三	七	八	六	六	五	一	一	四	元	一
												一四	四
												一〇一	三
四八四	九八	六	三	七	八	六	六	五	一	一	四	元	一

三三三

京東		縣玉埼			道海北			縣森				
褒狀	賞狀	計	褒詞	褒狀	賞狀	計	褒詞	褒狀	賞狀	計	褒詞	褒狀
一〇	一	二	一	一		九	七	二		七	七	
五〇	一九	六	一	五		四六〇	三〇四	一四九	七	三	二	一
六〇	二〇	八	一	六	一	四六〇	三〇四	一四九	七	三	二	一

三三三

縣				長崎縣			合計				
計	賞狀	褒狀	褒詞	計	賞狀	褒狀	褒詞	計	賞狀	褒狀	褒詞
五八七六				三三	二五五二	二五〇六四	二八五六三	三三、二九九	二、五五二	二五、〇六四	二八、五六三
					三元	三〇五	三九六六	四、三〇〇	三九六六	三〇五	三九六六
					四二	二六一	五、四三三	五、七二五	四二	二六一	五、四三三
					五七八	八、八五一	八〇、六〇八	九〇、〇三七	五七八	八、八五一	八〇、六〇八
三					三、二〇九	三四、四八一	三七五、六三六	四、三三〇	三、二〇九	三四、四八一	三七五、六三六
五八七九				三三	二、五五二	二五、〇六四	二八、五六三	三三、二九九	二、五五二	二五、〇六四	二八、五六三

備考

本表ニ賞狀トアルハ總テ木杯ヲ賜リタルモノナリ
 本表ハ宮城縣ノ取扱ニ係ルモノ而已ニシテ巖手青森兩縣ニ於テ取扱ヒタルモノ
 ハ此外ナリ

海嘯災害救恤者賞與人員地方別表ノ二

(其筋へ稟申ノ分)

川石		縣川		奈神		縣城		宮		受賞者地方別	
褒狀	賞狀木杯	計	褒詞	褒狀	賞狀木杯	計	褒詞	褒狀	賞狀木杯	三縣連帶	賞與種別
二七	一	二八	四	一四	四一	三四	一	三〇	一二		岩手縣連帶
											本縣連帶
											本縣指定
											計
											三〇

縣 嶋 德			縣 川 香			縣 口 山			縣			
計	褒詞	褒狀	賞狀 杯木	計	褒詞	褒狀	賞狀 杯木	計	褒詞	褒狀	賞狀 杯木	計
二五	二	三三	一	六七	三四	三三	一	四七	二六	三〇	一	一〇〇
												一
												一
												一
												一
												一
二五	二	三三	一	六七	三四	三三	一	四七	二六	三〇	一	一〇〇

島 廣			縣 山 岡			府 坂 大			縣			
褒詞	褒狀	賞狀 杯木	計	褒詞	褒狀	賞狀 杯木	計	褒詞	褒狀	賞狀 杯木	計	褒詞
九	壹	三	二六	一	二四	三	二八	一七	叁	九	二七	四
九	壹	三	二六	一	二四	三	二八	一七	叁	九	二七	四

兒鹿		縣崎宮			縣本熊			縣賀				
褒狀	賞狀 杯木	計	褒詞	褒狀	賞狀 杯木	計	褒詞	褒狀	賞狀 杯木	計	褒詞	褒狀
	三	三	六	五	一	四	四	四	三	八	一	七
四	二	三	六	五	一	四	四	四	三	八	一	七

佐	縣岡福			縣媛愛			縣知高					
賞狀 杯木	計	褒詞	褒狀	賞狀 杯木	計	褒詞	褒狀	賞狀 杯木	計	褒詞	褒狀	賞狀 杯木
	四	八	六	一	四	三	三	一	七	九	八	一
	三		三						一	一		
五	八	六	一	四	三	三	一	六	七	九	八	一

縣 田 秋			縣 手 巖			人 國 外			人			
計	褒詞	褒狀	賞狀 木杯	計	褒詞	褒狀	賞狀 木杯	計	褒詞	褒狀	賞狀 木銀杯	計
三	一	二										
一〇	一〇	一		四	二	一	二					
五	二	三	一	六	二	三	一	六	一	一	六	三

三三二

邦 本 外 在			灣 臺			縣 繩 沖			縣 島			
褒詞	褒狀	賞狀 木杯	計	褒詞	褒狀	賞狀 木杯	計	褒詞	褒狀	賞狀 木杯	計	褒詞
一	七	九	一六	三	七	四	一		一		六	二
一	七	九	一六	三	七	四	一		一		六	二

三三〇

縣 阜 岐			縣 賀 滋			縣 井 福			縣			
計	褒詞	褒狀	賞狀 杯木	計	褒詞	褒狀	賞狀 杯木	計	褒詞	褒狀	賞狀 杯木	計
三		三		一	一			八	三	五		四
												一
								一		一		
三		三		一	一			九	三	六		五

山 富			縣 野 長			縣 岡 靜			縣 梨			
褒詞	褒狀	賞狀 杯木	計	褒詞	褒狀	賞狀 杯木	計	褒詞	褒狀	賞狀 杯木	計	褒詞
	四		一		一		五		五			
一												
												一
一	四		一		一		五		五			一

分大		縣根島			縣取鳥			府都				
褒狀	賞狀杯木	計	褒詞	褒狀	賞狀杯木	計	褒詞	褒狀	賞狀杯木	計	褒詞	褒狀
一	一	三五	二〇	一四	一	五	一	四	一	二	二	八
一	一									一	一	二
一	一	二			三					二	一	一
一	一									一	一	一
三	一	三七	二〇	一四	一	六	二	四	一	一五	三	九

京	縣良奈			縣重三			縣知愛					
賞狀杯木	計	褒詞	褒狀	賞狀杯木	計	褒詞	褒狀	賞狀杯木	計	褒詞	褒狀	賞狀杯木
一	一	一	一	一	二	一	一	一	二九	九	八	三
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二	一	一	一	一	四	七	六	一	一	一	一	一
一	五	一	四	一	一	一	一	一	三	一	二	一
三	六	一	五	一	一六	八	七	一	三三	九	二〇	三

縣 山 歌 和			縣 澗 新			府 京 東			縣			
計	褒 詞	褒 狀	賞 狀 杯 木	計	褒 詞	褒 狀	賞 狀 杯 木	計	褒 詞	褒 狀	賞 狀 杯 木	計
三		二		五	一	五		二〇	二	六	六	二
								三		三		
								五	一	二	三	
				一			一	一九	二	九	九	
二		二		五	一	五		二六	三〇	七	二七	一

玉 琦			應 道 海 北			縣 森 青			縣			
褒 詞	褒 狀	賞 狀 杯 木	計	褒 詞	褒 狀	賞 狀 杯 木	計	褒 詞	褒 狀	賞 狀 杯 木	計	褒 詞
一			二	一	四		五	三	五		三	
				一	一		二					一
				二	八	三	一三	四	四		八	
一			二	一〇	一七		二七	四	七	三	一四	

本村	泉	小	郡		字	流失	全流	半流	床上	床下	被害前戸口	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	馬	
			町	村																					
計	小	泉	歌	甘	藏	一	一	一	一	一	一八一	一九	四〇	一九	二	一	三	七	二	九	三	三	三	一〇	三
八	一	一	三	二	八	一	一	一	一	一	一四六	八九三	二二	二	二	二	三	七	二	三	二	三	六	五	
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	

海嘯被害戸口表

勳六等以上ノ者及華族又ハ銀杯ヲ賜フヘキ者ノミナリ
 (第一) 被害總額
 明治二十九年三陸海嘯ノ慘狀ハ既ニ叙述シタリト雖モ尙一瞬刹那ノ間ニ於テ本縣
 下三郡ノ蒙リタル被害ノ總額如何ヲ願ヒレハ貴重ナル人命ハ勿論助産不助産ノ瀆
 盡鳥有ニ歸シタル實ニ驚クヘキ巨額ニ上レリ今其細密ナルモノハ之ヲ調査スルニ
 山ナシト雖モ當時救急及善後事務處辨ノ傍ラ調査作製セシメタル被害總額ヲ掲ク
 レハ實ニ左ノ如シ

備考 本表ニ掲タル人員ハ勅奏任官奏任官以上ノ待遇ヲ受クル者並ニ從六位以上

計	褒	褒	賞	計	褒	褒	賞	計	褒	褒	賞	計	褒	褒	賞	計	褒	褒	賞
一六五	四〇	一〇	二八	二	五	五	一	三	三	九	一								
三		三																	
三	三	六	八																
一八五	四〇	一〇	二八	二	五	五	一	三	三	九	一								

村嶽御	桑										唐		村折鹿		
	計	大	岩	只	笹	崎	小	鮎	石	馬	宿	浦	舞	計	鶴ヶ浦
		三三五	五三	二	五二	二	一	二六	四四	一五	五	一八	二	六	三三
															三三
	二	三													二二
		二〇						七	二				四	五	五五
		二六							三	二				五	二二
		五													六六
	五八	五八	五一	九	一	五	四	一	四	六	三	四	六	八	一六
	三九七	三九七	三九四	七	六	八	五	一	〇	〇	六	一	〇	八	一四四
			三七九	七	六	五	一	一	七	八	五	〇	二	五	
			四九七	九	八	六	一	一	〇	一	七	六	六	五	六六
			八三六	一	七	四	一	一	二	四	一	一	一	一	六六
			三	一											一一
			六	三											一一
			九	四											三三
			六												
			一〇												
			一六	二											
			六八	二											二二
			八〇	八	一	三	一								三三
			一四八	一〇	一	七	二	一							五五
			八八	二	二	三	三	一							四四

三四

村岩松	計	村嶋大				村上階			村谷大		町村		
		計	外	田	長	計	長	杉	明	計	平	大	字
			一	七	四	三	二	八		八	一	六	流失
													全潰
													牛潰
													床上
													床下
													戸敷
													人口
													男
													女
													計
													男
													女
													計
													男
													女
													計
													男
													女
													計
													馬

三四

相川濱	倉							村							
	計	折立	水戸邊	津ノ宮	破傳谷	瀧濱	藤濱	寺濱	長清水	計	浪濱	浦濱	石濱	名星濱	中山濱
三七	三三	二	二	七	五	三	三	二	二四九	三九	五二	一六	二六	三三	一三
	九	-	-	-	二	一	四	-	二	三三	四	三	二	-	一
五	二	八	二	三	四	-	一	四	三三	四	三	二	-	-	二
	三七	二	-	-	二	三	-	一	三	-	-	-	-	-	-
	四二	三〇	-	一	七	二	-	-	三	-	-	-	-	-	二
四三	二五六	六八	七二	二〇	三三	三三	一一	二二	五二	六四	五五	三四	六九	三五	二二
三七六	一九〇	四三五	四九六	一七四	二八一	一七八	八四	一〇二	三、四七四	四一八	四〇九	二六六	四〇六	三二四	一四九
七九	二六	-	-	八	-	二	四	一一	二九	三三	六八	二四	四四	五九	一九
七九	三八	-	-	七	一	六	六	一八	五〇八	七〇	一四〇	三九	七一	九三	三〇
一五八	六四	-	-	一五	二	八	一〇	二九	七九九	一〇三	二〇八	六三	一一五	一五二	四九
三	-	-	-	-	-	-	-	-	一四	-	-	三	四	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	一五	三	-	-	五	二	一
三	二	-	-	-	-	-	-	-	二九	二	一	四	九	二	二
	-	-	-	六	四	-	-	-	一〇	三	二	-	二	-	一
四	一六	-	-	六	二	一	七	-	三三	六	五	一	一	二	-
六	二七	-	-	二	六	一	八	-	三三	九	七	一	三	二	一
一七	九	-	-	-	-	-	-	九	八六	二	九	一〇	七	二	一〇
一〇	-	-	-	-	-	-	-	-	八四	四	一七	六	五	一五	八
二七	九	-	-	-	-	-	-	九	一七〇	六	三六	一六	一一	二六	一八
六三	一八	-	-	七	一	二	三	五	一六二	一八	三五	一七	二四	二八	一三

三四五

吉										郡					
津		歌		町	川	津	志	合		町村					
泊濱	稻淵濱	館濱	管濱	伊里前	寄木濱	蕪濱	計	細浦	清水濱	平磯	袖浦	荒戸	埋地	沖須賀	字
七	三	六	三	九	四	-	一四二	三四	六〇	五	三	四	三六	四三三	流失
-	-	-	七	-	-	-	三〇	-	-	三	四	一六	七	二四	全濱
-	-	-	-	二	六	-	三三	二	二	四	五	一九	-	四八	半濱
九	-	-	-	二	三	二	一三三	三	五	-	-	四	一一	一六〇	浸
-	-	-	-	-	-	-	八三	-	-	三	一	-	七七	一〇	水上床下
六二	一六	一八	八	七七	一六	三七	二九三	三八	六七	四二	二二	六三	六二	一、六三三	被害前
三七七	六	二九	四四	四八二	一三七	二五一	一、七七三	二七六	三九六	一七九	一四六	四九六	二八〇	二、一七八	人口
二	一	三	二	二九	五	二	一八〇	六九	八六	五	二	二二	六	八二八	男
五	-	三	三	二五	二	七	一九一	五二	七九	五	九	一八	二八	一、〇六三	女
七	二	六	五	五	四	九	三七二	二二	一六五	一〇	一一	三〇	三四	一、八八一	計
-	-	-	-	三	一	-	四	-	三	-	-	-	-	一二	男
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	一三	女
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	二五	計
-	-	-	-	四	三	-	五	-	七	二	三	一	三	二四	男
-	-	-	六	-	-	-	四九	八	三	-	三	一五	二	二四	女
-	-	-	-	八	-	-	一〇〇	一五	四八	-	三	六	二八	四八	計
-	-	-	-	三六	-	-	四二	-	一五	四	-	七	一六	一九八	男
-	-	-	二七	-	-	-	二二	-	二	二	三	六	一	一九六	女
-	-	-	五	二	-	-	六五	-	二七	六	-	一〇	三三	三九四	計
-	-	-	-	一〇	九	-	一〇三	三六	四八	四	一	二	二	二八五	畜

三四四

鹿	牡															
	大谷川	村														
		計	宮ヶ崎	飯子	小乘	江ノ島	指ヶ濱	桐ヶ崎	石濱	野ヶ濱	尾浦	竹ノ浦	寺間	山嶋	御前濱	塚濱
1	7													3		
2	7												4	2		
3	26									3	1	3	6	5		1
4	25								2	2	5	2	5	7	1	2
5	33					3			1	2	3	3	2	6	1	
6	58	41				2	6	3	3	21	10	10	4	3	4	9
7	35	25				8	4	1	8	25	11	11	1	2	4	9

縣之種	合	郡										町	村	字											
		計	吉	道	白	立	月	小	長	小	大	大	流	破	人	男	女	男	女	男	女	男	女		
			濱	波	濱	神	濱	濱	谷	濱	濱	濱												濱	失
1	PLAN	60																							
2	HN	7																							
3	11	26																							
4	20	26																							
5	19	26																							
6	19	26																							
7	19	26																							
8	19	26																							
9	19	26																							
10	19	26																							
11	19	26																							
12	19	26																							
13	19	26																							
14	19	26																							
15	19	26																							
16	19	26																							
17	19	26																							
18	19	26																							
19	19	26																							
20	19	26																							
21	19	26																							
22	19	26																							
23	19	26																							
24	19	26																							
25	19	26																							
26	19	26																							
27	19	26																							
28	19	26																							
29	19	26																							
30	19	26																							

總計	郡 生 桃										合計		
	合計	村川大	村 濱 五 十							合計			
			計	熊大	桑須	立濱	分濱	大濱	水濱			名濱	船越
九八五	三一	一	三〇							一	二	一七	七
一一二	二六		二六								一	二五	七
二七六	八四		八四		四	二				一	六	七七	三三
六〇一	八五	二五	六〇		七	四	四	六	二	二	二五	六	一四九
四一一	二二三	三三	九一		三五	三八	九	一一	七	一	一七	一七	四二
四三六	六九六	一一七	五七九		二七五	二九九	三五	四〇	六七	七九	九八	一八七	七四
三〇〇一九	四二七九	七〇六	三九七三				三三三	二五七	三八九	四六〇	五八八	一、一三三	四、五八七
一、四五四	三	一	三三								九	二四	一
一九三三	二五		二五								一八	七	一
三三八七	五九	一	五八								二七	三二	二
三四													
三三													
六五													
一〇一	二		二									二	
一一三	一		三									三	
二二四	五		五									五	
五一〇	一四〇		一四〇								五〇	九〇	三
五〇七	一七〇		一七〇								三〇	一四〇	三
一〇一七	三〇		三〇								八〇	二三〇	六
六六一													一

三四九

郡										町村	字			
村川鮎		村 濱 萩			村 原									
計	金華山	計	孤崎	牧濱	折濱	福貴浦	小積	計	小網倉	大原	泊濱	鯨ヶ浦	給分濱	
														流失
														全濱
														半濱
														浸
														床上
														下水
														月數
														人口
														男
														女
														計
														死
														男
														女
														計
														重
														男
														女
														計
														傷
														男
														女
														計
														密
														馬

三四八

損害價格表

郡 町 村	小			大		本			田	畑	樹 木	其 他	計
	計 小 泉	个 朝 磯	歌 生	甘 一 濱	藏 内	村 泉	村 谷	村 上					
小計	五三〇〇〇〇〇〇〇〇	一三〇〇〇〇〇〇〇〇	二〇〇〇〇〇〇〇〇〇	一三〇〇〇〇〇〇〇〇	五五〇〇〇〇〇〇〇〇	五五〇〇〇〇〇〇〇〇	二〇〇〇〇〇〇〇〇〇	五三〇〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇〇〇	七〇〇〇〇〇〇〇〇〇			二〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
計	一八、一五〇、〇〇〇、〇〇〇	五、五〇〇、〇〇〇、〇〇〇	一、七〇〇、〇〇〇、〇〇〇	一、三〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	八、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇			一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇

桑	唐					計	鹿 折	計	松 岩	計	大 嶋				
	小 鱈	石 立	馬 濱	宿 場	浦 根						計	外 濱	田 中	長 崎	崎 濱
小計	九、一〇〇、〇〇〇、〇〇〇	一、六七三、〇〇〇、〇〇〇	四、五七七、〇〇〇、〇〇〇	一、一六八、〇〇〇、〇〇〇	三、七八九、〇〇〇、〇〇〇	七、六〇〇、〇〇〇、〇〇〇	一、九〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、九〇〇、〇〇〇、〇〇〇	七、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	五、九一、一〇〇、〇〇〇	八、七五、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	八、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
計	二、五〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、三〇〇、〇〇〇、〇〇〇	九、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	六、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇

郡	町村	字	建物	家財	船舶	網	田	畑	樹木	其他	計
	計		1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000
	折立		1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000
	水戸邊		1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000
	津ノ宮		1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000
	破傳谷		1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000
	瀧濱		1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000
	藤濱		1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000
	相川濱		1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000
	大指濱		1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000
	小指濱		1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000
	小室濱		1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000
	大室濱		1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000
	小泊濱		1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000
	長瀬谷		1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000

三五四

郡	町村	字	建物	家財	船舶	網	田	畑	樹木	其他	計
	計		1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000
	小計		1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000
	吉濱		1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000
	追波		1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000
	白濱		1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000
	立神		1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000
	月濱		1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000
	小瀧濱		1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000
	鷺ノ神		1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000
	女川濱		1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000
	塚濱		1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000
	御前濱		1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000
	出島		1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000
	寺間		1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000
	竹ノ浦		1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000

三五五

鹿											郡				
原大					村					川	町村				
大原	泊濱	鯨ヶ浦	給分濱	谷川	計	宮ヶ崎	飯子	小乗	江ノ島	指ヶ濱	桐ヶ崎	石濱	野々濱	尾浦	字
			三〇〇〇〇	七七五〇〇〇〇	二〇七四一〇〇								三〇〇〇〇	二九〇〇〇	建物
				四三五〇〇〇	七三〇九〇〇								三三〇〇〇	一〇、五〇〇	家財
		七五〇〇〇			四二九、〇〇〇		四、〇〇〇								船舶
				一五〇〇〇〇	二六、一三五〇		六〇〇〇〇		五、〇〇〇	三〇、〇〇〇					網
				三、一五〇〇〇	一四九、〇〇〇								二二〇〇〇		田
			三〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	八六、三〇〇		四、〇〇〇						五〇〇〇	二〇〇〇	畑
					四、五五〇〇								五〇〇		樹木
					一〇、九九九、九五〇					一〇、〇〇〇				一〇、〇〇〇	其他
五〇〇、〇〇〇	七五〇、〇〇〇	九八、〇〇〇	四四〇、〇〇〇	一、七三、〇〇〇	四八七六一〇〇		九、〇〇〇		五、〇〇〇	六、五〇〇			七、四、五〇〇	五、一、五〇〇	計

三五六

桃											郡				
五					十					村	町村				
大濱	水濱	名振	船越	雄勝	計	金華山	鮎川	計	狐崎	牧濱	折濱	福貴浦	小積	計	小網倉
		六九〇、〇〇〇	七、八三〇、〇〇〇	三、三三三、二一〇	一、四七〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇							九七、八〇〇	建物
			二、八二九、〇〇〇	一、一、一八四、三三〇	五、一八、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇							四四、七〇〇	家財
		五、一八、〇〇〇		一、二、七、七、九〇〇	八、〇〇〇									七、五〇〇	船舶
		五七〇、〇〇〇	二、六〇〇、〇〇〇	五、六四〇、〇〇〇	八、〇〇〇									七〇〇、〇〇〇	網
			四、八四七、〇〇〇	一、〇、七、一、三、五〇〇										五、五、五〇〇	田
			七〇〇、〇〇〇	一、九、二、〇〇〇										八、三〇〇	畑
			五、七、六〇〇	四、五、五〇〇											樹木
				四、〇〇〇、〇〇〇										二、五、〇〇〇	其他
				一、一、七、四、九、五〇	五、六〇、〇〇〇									二、八、三、八〇〇	計
八、〇〇〇		二、〇、四、五〇〇	一〇、三、七、〇〇〇	二、五、五、六、三、八〇	八、四、八、四、一〇〇	五、六〇、〇〇〇	六、〇〇〇	二、一、〇、〇〇〇	八、〇〇〇	三、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	五、〇〇〇	七、五〇〇	

三五七

流失財產價格調

名		流		失		財		產		價		格		調		家		士		板		倉		納		家		概		其		他		計															
		貨	幣	貨	幣	古	金	公	債	有	價	家	具	衣	服	其	他	米	穀	計	家	士	板	倉	納	家	概	其	他	計	家	士	板	倉	納	家	概	其	他	計									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50

